

第2回「健やか親子21」の評価等に関する検討会 議事次第

平成21年8月5日(水)

10:00~12:00

厚生労働省 共用第7会議室

1 開 会

挨拶

2 議 題

- (1) 「健やか親子21」指標の分析・評価のための調査実施状況について
- (2) 健やか親子21推進協議会の取組状況について
- (3) 新たな取組に関するフリーディスカッション
- (4) その他

3 閉 会

<配布資料>

資料1 「健やか親子21」指標の分析・評価のための第2回中間評価の進め方

資料2 「健やか親子21」指標の分析・評価のための調査実施のスケジュール
と調査概要

資料3 健やか親子21推進協議会における関係団体の取組の現状と課題

- ① 課題Ⅰ代表幹事 市川 宏伸 氏
- ② 課題Ⅱ代表幹事 堀内 勁 氏
- ③ 課題Ⅲ代表幹事 小林 信秋 氏
- ④ 課題Ⅳ代表幹事 衛藤 隆 氏

資料4 健やか親子21推進協議会参加団体の取組実績の調査について

資料5 ① 第1回検討会における新たな取組に関する発言について

② 「健やか親子21」における取組の目標

参考1 「健やか親子21」に関連する行政計画や国民運動計画の周期

参考2 「健やか親子21」第2回中間評価の進め方

参考3 「健やか親子21」第2回中間評価に関する調査票

参考4 「健やか親子21」推進協議会について

「健やか親子21」の評価等に関する検討会 開催要綱

1. 目的

「健やか親子21」は、21世紀初頭における母子保健の国民運動計画として、2001年(平成13年)から始まり、2005年(平成17年)に中間評価が行われた。その結果を踏まえて重点取組項目が設定される等、さらに取組が推進されてきたところである。

今回、新たな指標を追加した再評価等について検討を行うことを目的として、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長が学識経験者・関係団体代表者等の参集を求め、本検討会を開催することとする。

2. 構成

- (1) 検討会の構成員は別紙のとおりとする。
- (2) 検討会に座長を置く。

3. 検討項目

- (1) 「健やか親子21」の評価等について

4. 運営

- (1) 検討会は原則公開とする。
- (2) 検討会の庶務は、雇用均等・児童家庭局母子保健課において行う。

5. その他

この要綱に定める者のほか、検討会の運営に関し必要な事項は、座長が雇用均等・児童家庭局長と協議の上定める。

「健やか親子21」指標の分析・評価のための第2回中間評価の進め方

(平成21年8月現在)

①各種調査・研究により収集されたデータに基づき、各指標について達成度の分析・評価を行う。

1. 138市町村に依頼し、研究班による乳児健康診査におけるアンケート調査を実施(20項目)
2. 地方公共団体等に対するアンケート調査※1(研究班において集計)(13項目)
3. 既存の統計調査を引用※2(16項目)
4. 関係省庁、関連団体に照会※2(5項目)
5. 厚生労働省内関係部署に照会※2(11項目) 他

※1:EPDS実施自治体への調査も含む

※2:「小児人口に対する小児科医・新生児科医師・児童精神科医師の割合」の指標の「①小児科医」は3.、「②新生児科医」は5.、「③児童精神医学分野」は4.により調査

②健やか親子21推進協議会、地方公共団体、国の取組状況の分析・評価を行う。

1. 研究班による地方公共団体に対するアンケート調査(研究班において集計)
2. 関係省庁、関係省庁に照会
3. 推進協議会への参加団体に対するアンケート調査

③新たなニーズに対する指標の設定について検討を行い、追加する指標について、現状値を明らかにするとともに、今後の目標(値)設定する。

④健やか親子21推進協議会、地方公共団体、国における効果的・効率的な活動方策について検討する。

⑤「健やか親子21」の今後の推進方策について検討する。

⑥「健やか親子」第2回中間評価に関する報告書とりまとめ

「健やか親子21」指標の分析・評価のための調査実施のスケジュールと調査概要

山縣班 平成21年度 調査スケジュール

調査名	対象	調査開始	回収期限	入力開始	入力データ納品
親と子の健康度調査(乳健調査)	138市町村 【配布数】 3、4ヶ月児:8642 1.6歳児:12944 3歳児:12431		7月中 ※8月回収 のところも あり	8月中旬～(予定)	9月下旬(予定)
自治体調査	都道府県 市町村 指定都市、中核市、特別区、保健所設置市	7/10発送	8月14日(金)	8月下旬～(予定)	9月下旬(予定)
思春期やせ症・不健康やせ 頻度調査	全国15校の公立・私立高等学校の3年生女子:1500人における小学校1年生時からの身長・体重、ならびに通院・入院履歴等	8月3日	9月初旬	2009/8/3 各協力校を研究協 力者が訪問し、既存 の記録を解析可能 な形式に入力・変換 する。	9月下旬(予定)
EPDSによる産後うつ頻度の 把握に関する調査	EPDSを導入している都道府県・政令市の保健所112箇所、市町村の保健センター416箇所におけるH20の単一事業内全数把握データ	7月4日	7月29日(水)	8月初旬	9月下旬(予定)

乳幼児健康診査における調査 (親と子の健康度調査)

対象

138市町村の乳幼児健診を受診した児の保護者

調査方法

自記式質問紙

調査項目

- ・妊娠・出産について満足している者の割合
- ・母性健康管理指導事項連絡カードを知っている就労している妊婦の割合
- ・出産後1か月時の母乳育児の割合
- ・妊娠中の喫煙率、育児期間中の両親の自宅での喫煙率
- ・妊娠中の飲酒率
- ・かかりつけの小児科医を持つ親の割合
- ・休日・夜間の小児救急医療機関を知っている親の割合
- ・事故防止対策を実施している家庭の割合
- ・乳幼児のいる家庭で風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないよう工夫した家庭の割合
- ・心肺蘇生法を知っている親の割合
- ・乳児期にうつぶせ寝をさせている親の割合
- ・6か月までにBCG接種を終了している者の割合
- ・1歳6か月までに三種混合・麻しんの予防接種を終了している者の割合
- ・子育てに自信が持てない母親の割合
- ・子どもを虐待していると思う親の割合
- ・ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合
- ・育児について相談相手のいる母親の割合
- ・育児に参加する父親の割合
- ・子どもと一緒に遊ぶ父親の割合
- ・乳幼児の健康診査に満足している者の割合

自治体調査

対象

都道府県、市町村、指定都市、中核市、特別区、保健所設置市

調査方法

自記式質問紙

調査項目

- ・初期、二次、三次の小児救急医療体制が整備されている都道府県の割合
- ・事故防止対策を実施している市町村の割合
- ・院内学級・遊戯室を持つ小児病棟の割合
- ・慢性疾患児等の在宅医療の支援体制が整備されている市町村の割合
- ・周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制が確立している保健所の割合
- ・育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査を行っている自治体の割合
- ・乳児健診未受診児など生後4か月までに全乳児の状況把握に取り組んでいる市町村の割合
- ・食育の取組を推進している地方公共団体の割合
- ・子どもの心の専門的な診療ができる医師がいる児童相談所の割合
- ・育児不安・虐待親のグループの活動の支援を実施している保健所の割合
- ・思春期外来(精神保健福祉センターの窓口を含む)の数
- ・思春期保健対策に取り組んでいる地方公共団体の割合

思春期やせ症・不健康やせの頻度調査

対象

平成20年度時の高校3年生の女子の記録
(全国の高等学校十数校を対象に各100名程度)

調査方法

児童生徒健康診断表を用いた後向き調査

調査項目

不健康やせと思春期やせ症の頻度

- ・小学校1年～高校3年(平成20年度時点)までの毎年4月に行われる学校健診で得られた身長・体重測定値を過去にさかのぼって収集し、成長曲線上にこのデータの変移をプロットし、不健康やせを判定する。
- ・身長体重データの収集と併せて、養護教諭に対し、「思春期やせ」が疑われるケースについて、「医療機関受診の有無」を問い合わせ、また次の6項目についてヒアリングを行う。
「徐脈(60/分以下)」、「無月経」、「ダイエット・食行動異常」、「過活動」、「肥満恐怖、やせ願望」、「やせていることを否定」。

EPDSによる産後うつ頻度の把握に関する調査

対象

EPDSを導入している都道府県・政令市の保健所、市町村の保健センターの合計518カ所

調査方法

郵送法による質問紙調査

調査項目

産後うつ病の発生率

EPDSを用いての(単一事業における)全数対象スクリーニングの実施の有無

上記スクリーニング実施の時期と事業名

スクリーニング対象者の最も多い事業

EPDSに関する基礎情報と結果

- ・管轄内の出生数
- ・事業対象者数
- ・スクリーニング対象者が最も多い事業時のEPDS適用対象者数
- ・上記スクリーニングの結果
- ・EPDSの実施者

EPDSの結果を受けてのフォロー

その他、独自に行っている産後うつ予防を目的とした取組

第一分科会

2009. 8. 5.

健やか親子検討会

厚労省

日本児童青年精神医学会 市川宏伸

課題1参加団体

全 42団体

幹事団体：

全国養護教諭連絡会議

日本家族計画協会

日本学校保健会

日本児童青年精神医学会

日本助産学会

日本泌尿器科学会

課題1の目標

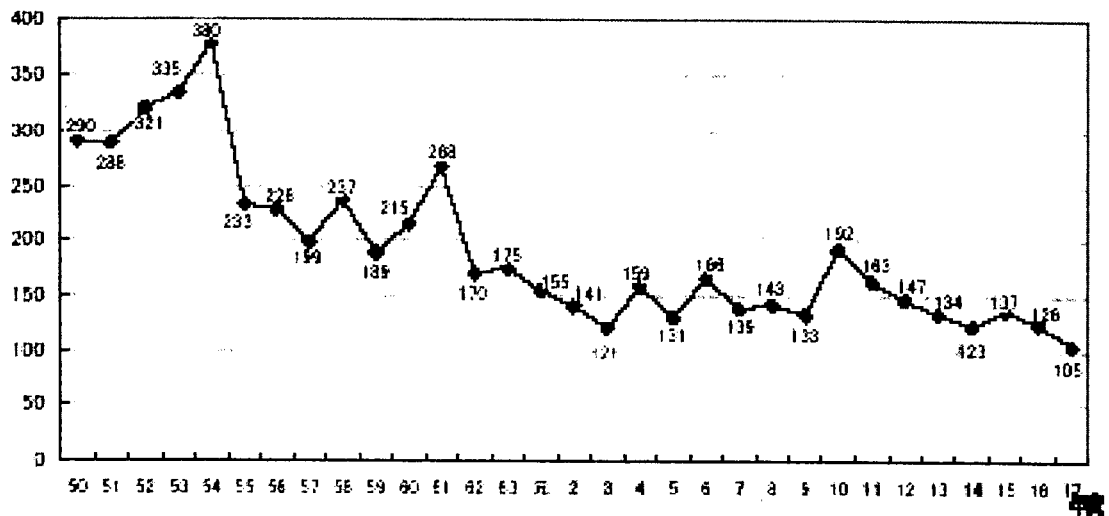
思春期の保健対策の強化と健康教育の促進

- ・保健水準の目標
- ・住民自らの行動の目標
- ・行政・関係団体等の取り組みの目標

保健水準の目標

- ・10代の自殺率
- ・10代の人口妊娠中絶実施率
- ・10代の性感染症罹患率
- ・15歳の女性の思春期やせ症の発生頻度
- ・児童・生徒における肥満児の割合

児童生徒の自殺の状況

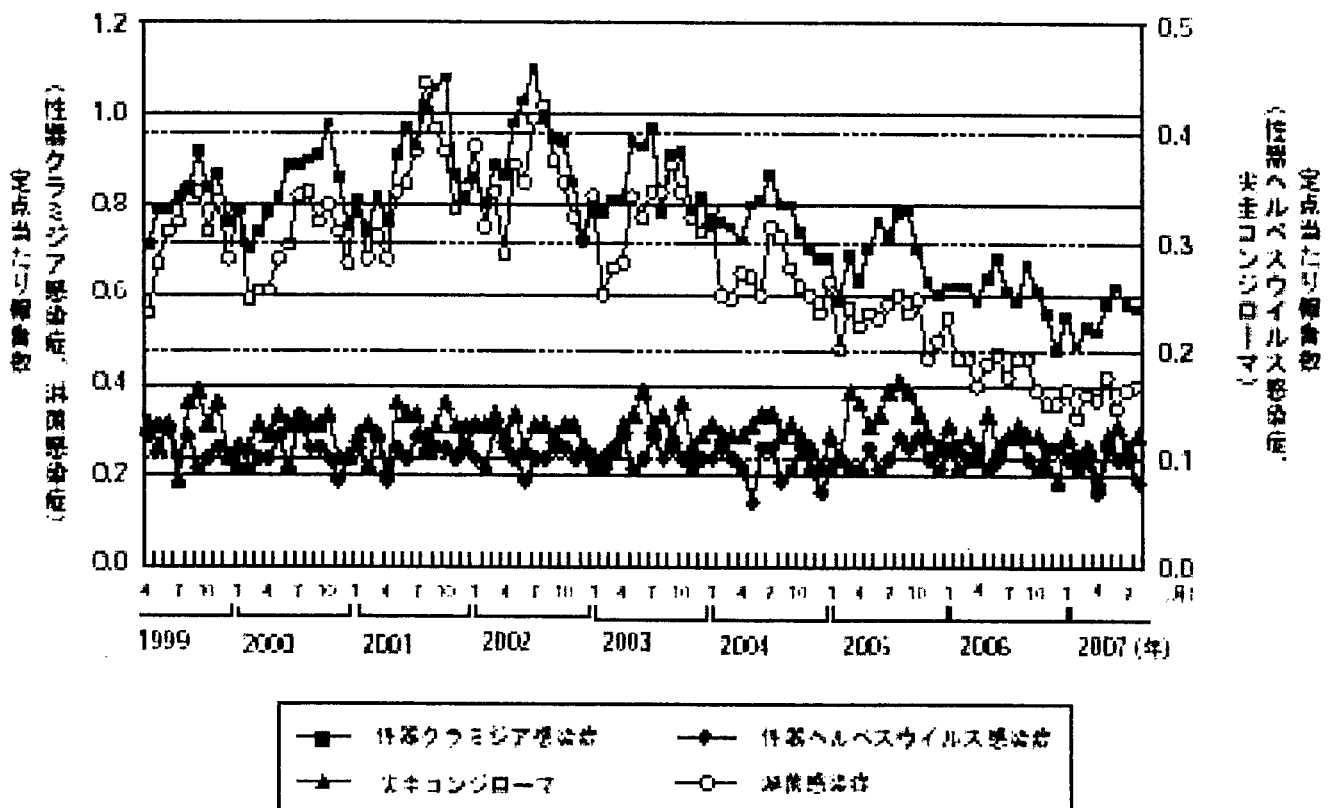


(参考)

平成17年中における自殺者の総数(未遂を除く)は32,552人で、前年に比べ0.7%(227人)増加した。
(警察庁調べ)

図4. 若年齢層における性感染症の年別・月別推移
(15~29歳、1999年4月~2007年8月)

a. 男性



人口妊娠中絶件数および実施率の年次推移

	2002	2003	2004	2005	2006
総数	329326	319381	301673	289127	276352
20才未満	44987	40475	34745	30119	27367
15才未満	—	483	456	308	340
15才	—	1548	1274	1056	995
16才	—	4795	3875	3277	3071
17才	—	7915	6447	5607	4911
18才	—	11087	9747	8236	7191
19才	—	14747	12946	11635	10859
20～24才	79224	77469	74711	72217	68563

住民自らの行動の指標

- ・薬物乱用の有害性について正確に知っている
小・中・高校生の割合
- ・10代の喫煙率
- ・10代の飲酒率
- ・性行動による性感染症等の身体的影響について知識のある広告性の割合

行政・関係団体等の取り組みの指標

- ・学校保健委員会を開催している学校の割合
- ・外部機関と連携した薬物乱用防止教育等を実施している中学校、高校の割合
- ・スクール・カウンセラーを配置している中学校の割合
- ・思春期外来の数
- ・思春期保健対策に取り組んでいる地方公共団体の割合
- ・職位区の取り組みを推進している地方公共団体の割合

課題1グループの現状

各幹事団体の感想

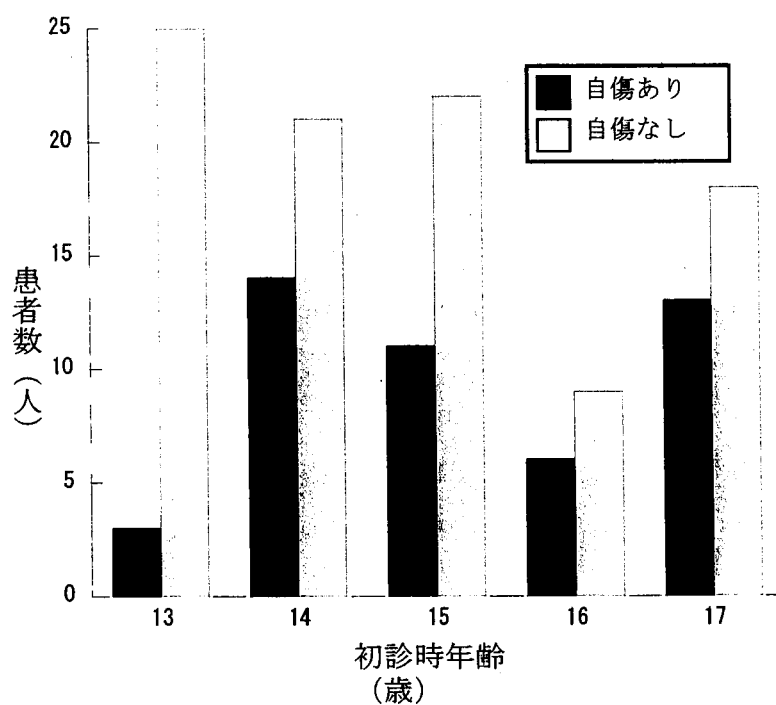
- ・課題が多岐にわたり、他のグループとも関連する
- ・幹事団体の会合に参加する団体が固定している
- ・各団体の中の足並みが揃っていない
- ・多くの課題が目標値に到達または近づいている
- ・会合を持つにも軍資金がない
- ・8年の経過は長い

課題1グループのこれから

各幹事団体の感想

- ・隠れ参加団体の意向を把握する
アンケート予定中
- ・国民運動として方向性？
- ・課題の再検討？
- ・目標値の到達から質の確保あるいは予防へ

女子初診時年齢分布



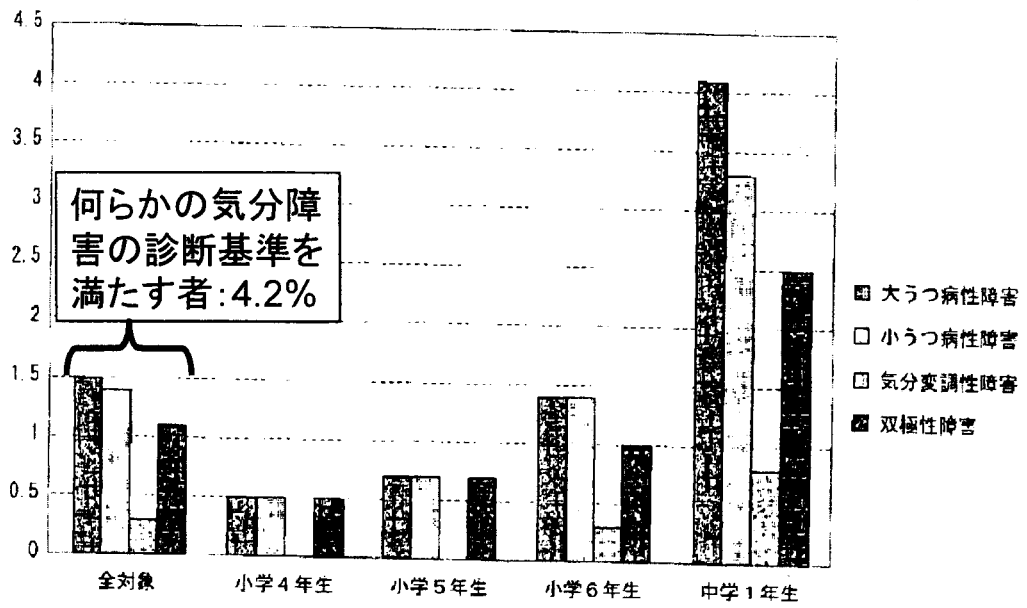


図1 気分障害の有病率

MINI-KID 2005日本語版を使用した小・中学生738名の調査による(傳田, 2007; 傳田, 2008)

健やか親子21推進協議会

課題2：「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」

平成21年7月27日
日本母乳の会 堀内 勁

<経過>

日本産婦人科医会、日本助産師会、日本母乳の会、日本産科婦人科学会の4団体が幹事団体として、本運動の推進をまかされてきた。運動開始時点には、妊娠・分娩の安全性確保についてシステムを考えながら、時には安全性という概念と相反する概念とも考えられる「快適性の確保」について協議を中心に行ってきた。

「快適性」に関する協議は、妊娠・分娩に関わる医師、助産師達が妊婦さんを個別的にケア・支援し、そのことにより形成された妊婦と医療関係者との間の相互信頼感の上にたって、行われることが安全で快適な妊娠、分娩がつながる。妊娠・分娩の場がそのような場であることが、産後の女性に快適さを感じさせる基本となり、母乳育児を推進させ、母子の絆を強め、その後の母親の良好な育児力の向上、そして子の良好な成長・発達に繋がって行く。このような信念のもとで運動が推進されてきた。

平成16-18年の厚生労働科学研究「妊娠・出産の快適性の確保の諸問題」、および、平成20年度子ども未来財団「妊娠・出産の安全性と快適性確保に関する調査研究」等の研究により以下の事柄が抽出された。

快適性確保に関する研究

「快適性確保」に関する諸問題の研究を幹事団体で行ってきた。赤ちゃんにやさしい病院（BFH）における分娩をテーマとして、日本母乳の会ではBFHを有する産科施設における産婦の意識調査を行い、日本産婦人科医会はBFHを対象に分娩の快適性に関する産科医師の意識調査を行った。その結果、BFHの医師たちは、妊娠・分娩の快適性に対する理解度が高く、分娩をした女性達も満足を感じる傾向が多い傾向が明らかとなった。つまり、BFHが目指す方向性は、妊産婦の快適性を重視する方向性と一致している。

また、BFH施設で分娩した産婦は快適性についてのみならず、安全性についても良い評価をしている。実際、BFHにおける吸引分娩率は低く、医療介入率も低い。

日本助産師会は産科医師達の囑託医療機関や契約医療機関についての理解が少ないという現況を調査して報告した。

また、子ども未来財団「妊娠・出産の安全性と快適性確保に関する調査研究」では「授乳離乳の支援ガイドのその後の活用状況を全国の産科に対して調査した。授乳・離乳の支援ガイドの認知状況と母乳育児への取り組みには相関があることがわかった。

<課題>

1) 安全性の確保

妊産婦死亡については減少したが、妊産婦死亡を半減の目標は未だ達成されていない。各県に一つの総合周産期母子医療センターを作り、周産期医療ネットワークの核とする構想は未だ達成されておらず、近年の分娩を取り扱う産科医の減少、そ

れに伴う産科施設の閉鎖、集約化で、安全性の確保の後退が懸念される。システムの質的向上を図らなければならない。

また、安全性の確保については、身体的安全性と女性が本来持っている力で出産・授乳を成し遂げたという達成感が、心の安全性に大きく関与していると考えられる。そのための分娩環境はまだ不十分である。安全性を確保しつつ、分娩直後の母子接触を安心してできる環境を作ることが求められる。

2) 分娩に携わる産婦人科医、助産師の養成

産婦人科医師数、助産師数の増加傾向が指標に掲げられている。当初の時点からみても増加というより減少している。分娩に携わる産婦人科医の減少、それに伴って分娩にたずさわる助産師も減少している。分娩に携わる産科医、助産師数の増加が課題である。助産師の勤務場所の偏在も問題になるが、その理由を明らかにして、対策を考える必要がある、また、病院勤務の助産師の中には看護業務に携わっている助産師が多く存在する。その正確な人数は把握はなされていない。病院での助産師業務のあり方を考え直すことも必要である。

3) 嘱託医療機関と助産所への支援

この運動が始まった当初は助産所の分娩の安全性が問われていたが、「助産所における分娩の適応リスト」および「正常分娩急変時のガイドライン」が作成され、開業助産師すべてに周知され、助産所での分娩のデータ収集が行われている。また、医療法の改正により助産所は産科又は産婦人科及び小児科を有し、かつ新生児への診療を行うことができる嘱託医療機関をもたなければならないこととなり、産科医は開業助産所における分娩の安全性向上を支援する体制ができあがった。しかし、産科医の不足という理由で嘱託医療機関になることを拒んでいる病院も見られる。

4) 母乳育児の重要性の見直し

母乳育児の重要性は、母子の将来にわたっての健康に関与していることである。今や世界的に母乳育児は成人病発症のリスクの軽減の要素として認識されている。

さらに、急激に増えてきている乳がんの発生と授乳経験の関連性はすでに明らかになっているところである。

将来まで見ると、母乳育児で育った子どもは病気にかかる率が少ない。医療費軽減の面からも母乳育児推進は大きな課題となる。アメリカ小児科学会では、母乳育児の経済的効果を見逃すことができないこととし、母乳育児の勧告をしている。

5) 「赤ちゃんにやさしい病院・Baby Friendly Hospital」(以下BFHと称す)の推進

日本母乳の会では、毎年8月の世界母乳週間に母乳育児シンポジウム(医療関係者や一般人参加約1000名)を開催、さらに母乳育児ワークショップを毎年2回(60-100名の医療関係者)開催し、母乳育児とBFHの推進をしている。

妊娠中の母親の95%以上が母乳育児を望んでいるにも関わらず、1か月時で約45%の母乳率である。その原因は出産後の入院中の母子同室、ケアにある。ちなみにBFHでの1カ月の母乳率は75-95%である。

BFH施設では、快適性においては、母親の満足度も高く、さらに母親の新生児の観察力や育児力の向上にも繋がっている。

BFH 施設は、現在 61 施設が認定され、ハイリスクを扱う大きな施設での認定が増加して行く傾向にある。各都道府県に少なくとも 1 箇所以上の BFH の認定が課題である。

<提 言>

1. 安全性を保証するために緊急の場合に直ちに作動できる周産期救急ネットワークを充実させることが必要である。具体的には各都道府県での周産期医療協議会機能を拡充し、その中で、開業助産師と嘱託医療機関・連携医療機関との連携も強化しなければならない。
産科施設の閉鎖によって、開業助産所での分娩数は増えている。嘱託医療機関が積極的に協力する体制を作ることも急務である。
2. 快適性と安全性が調和した産科医療機関を推進するために、産科医師とともに助産師の確保が重要である。これに基づき、安全性が確保され、快適性と満足度が調和した産科医療機関を全国的に拡大していくための推進活動を強化する。BFH はそのような機関として位置づけられる。
3. 産科医、開業助産師も加わるオープンシステム、院内助産院などの推進を行い、妊産婦の多彩な要望に対応し、さらに安全性を保証する。
4. 妊産婦の産む力、育てる力を養成し、医療者との信頼関係を築くものとしてベースプランを活用
5. 様々な妊産婦のニーズに応える産前・分娩・産褥・育児を視野に入れた母子保健資源の連携と拡充
6. 母親の育児力を育て、母子の健康のために出産直後の母子同室、母乳育児を推進する。
7. 母子同室を推進するために、病院機構評価の項目に「出産直後の母子同室」をいれる。
8. BFH 認定施設の増加。
9. 退院後の母子支援のために、保健師の母乳育児教育を行う。
10. 「授乳・離乳の支援ガイド」のさらなる普及をはかり、「授乳・離乳の支援ガイド」の実践のための研修を行う。

不妊の支援については、専門的に担当する団体が少なく、本幹事会で協議されていない。また、産婦人科医の激務の中で、会議の開催が難しくなっている現在、本幹事会について検討する必要がある。

課題 2 「妊娠出産の安全性と快適性の確保と不妊への支援」幹事会の経過

幹事会は第 1 回を平成 13 年に開催し、平成 21 年 3 月まで、27 回の幹事会を開催した。幹事団体での考え方や妊娠出産の安全性と快適性の確保の概念がそれぞれことなり、そのすり合わせの議論に時間がかかった。当初、安全性と快適性の両立の概念作りをした。その後、厚生労働科学研究でこの問題を研究し、その概念の確定をした。

また、全体会議は 3 回開催した。全体会議では各団体の意見交換に終わっている。

健やか親子推進運動が始まった当初とは、分娩をめぐる状況が大きく変わり、この課題 2 は、様々な問題に直面している。

また、不妊への支援は専門団体の出席がむずかしい状況において、平成 17 年度・の厚生科学研究「妊娠・出産の安全性と快適性の確保」において、研究がされたが、全体として進展することがむずかしかった。

幹事会開催と議論の経過

第 4 回（平成 14 年 7 月）～第 8 回（平成 15 年 9 月）の論議

妊娠・出産の安全性と快適さとは何かの討議を続けたが、各団体で意見交換の段階であった。共通認識として提起できる段階にはいたらなかった。

主に、開業助産所の分娩の安全性が論議された。産婦人科医会、産科婦人科学会から、助産師会は開業助産所のデータ収集を行うことが提案された。また、助産師会は開業助産所で扱う分娩のガイドラインを策定することを表明した。

開業助産所の安全性の問題が大きくクローズアップされたが、開業助産所の分娩等に対する快適性は幹事会では産科施設で、とりいれたいが、安全性が優先されると、快適性に重きを置くことは難しいとの議論になった。

この課題 2 のタイトルである「妊娠・出産の安全性と快適性の確保」を相矛盾しない概念を構築するために議論がされた。安全性確保のために助産院でのデータの収集、地域での妊娠・出産の安全を保障する意味からの嘱託医療機関の考え方、などを話し合ってきた。

その考え方の基本に女性には産む力、育てる力が備わっており、分娩、産褥期を通して、その力を発揮させることが安全性と快適性につながる。その方法として、バースプランの活用、母乳育児が提案された。

バースプランの具体例の提示し、妊娠、出産、産褥期をとおして女性から母親への転換させるものはなにか入院中は育児力を育てていくための期間と捉え、その間のサポートについてが議論された。

第 9 回（平成 16 年 2 月）～第 17 回（平成 18 年）の議論

これらを踏まえて、平成 16 年から 3 年間、厚生労働科学研究の応募し、「妊娠・出産の快適性の確保の諸問題の研究」に取り掛かった。

日本産婦人科医会は平成 16 年、17 年は「バースプラン普及のための産婦人科医師の意識調査」、平成 18 年は「BFH 施設の産科医を対象に、分娩の快適性確保に関する産科医の意識調査」をおこなった。助産師会は平成 16 年は「産婦人科医と助産師との連携の実態、助産師の働きかけによる新しい分娩環境」の調査を、平成 17 年、平成 18 年は「有床助産所と嘱託医師及び協力医療機関との連携に関する研究」を行った。

日本母乳の会は WHO・ユニセフ認定「赤ちゃんにやさしい病院」で出産した母親たちの 1 か月での満足度調査を 3 年にわたって調査した。日本産科婦人科学会は単年度(平成 17 年)不妊への支援の研究を行った。

幹事会では主に、この研究についての論議が行われた。

また、快適性確保の問題として、母子同室・母乳育児が議論された。快適性を単にアメニティーなどの問題にとらえるのではなく、母親の満足感、達成感が得ることがその後の育児につながるという観点から、母子同室、母乳育児が議論された。

幹事会で議論を重ねる中で、母乳育児に対する産婦人科医、小児科医に誤解があるのではないかと、その誤解を解くため、また、母乳育児の普及のために、4 団体で周産期医療の問題も含めてシンポジウムが企画された。しかし、開催費用の問題も含めて、諸事情で開催はできなかった。

平成 18 年は厚生労働省が 10 年ぶりに離乳の手引きを「授乳・離乳の支援ガイド」を作成した。日本産婦人科医会、日本助産師会は研究班メンバーとして作成にあたった。日本母乳の会はヒアリングに出席し、資料提供を行った。

この研究に取りかかっている間、分娩状況が大きな変化をきたした。臨床研修制度の変更、産婦人科医の訴訟リスクの増加、少子化など、様々な要因から産婦人科医の分娩からの撤退し、分娩施設の閉鎖が進み、分娩施設、産科医療環境は激変した。

第 18 回(平成 18 年 5 月)～第 21 回(平成 20 年 1 月)の議論

分娩を扱う産婦人科医の減少し、病院産科医の激務がクローズアップされ、さらに産婦人科女性医師の増加に伴い、産婦人科医の労働環境の整備が、妊娠・出産の安全性と快適性の確保の根本問題となってきた。分娩を扱う産科医不足は助産師の不足(助産師の大病院集中、また、病院での看護業務従事)を浮き上がらせた。

幹事会はこの問題の議論が行われた。問題が山積みしている産科婦人科学会は幹事会に出席できない状況が続いた。

安全性の問題では医療法の改正で開業助産所には産科医の嘱託が義務づけられた。また、個人だけではなく病院が嘱託機関となることで一定の進歩はあったが、産科医側は義務ではないため、産科医不足という理由で、開業助産所の嘱託を断る病院もあり、制度の見直しも必要な事態が起きている。

また、幹事会開催も病院き勤務の産婦人科医の勤務状況から、会議に参加する産科医が

少なくなってきた。

第 22 回～第 24 回（平成 20 年度）の議論

幹事会開催が難しくなっている状況のなかで、産科婦人科学会について、産婦人科医会も幹事会継続についての諸費用について意見が出された。

母子保健課から「授乳・離乳の支援ガイドのその後の利用状況について研究の示唆をいただき、「子ども未来財団」研究に応募し、平成 20 年度はその研究課題の議論がされた。

日本産婦人科医会は安全性の確保の観点から「新生児蘇生技術 Neonatal Cardiopulmonary Resuscitation (NCPR)の普及・育成」及び、「産科施設における母乳育児支援の現状に関する調査研究の研究」を、日本助産師会は「有床助産所における母乳育児支援の評価に関する研究」を、日本母乳の会は「産科施設における母乳育児支援の現状に関する調査研究」及び「出生直後の母子接触のあり方に関する調査」を行った。

新生児蘇生技術の普及・育成は各地で講習会が開かれ、大きな成果が上がっている。また、産科施設の母乳育児への取り組みは「授乳・離乳の支援ガイド」の周知と関連しており、更なる周知が母乳育児の普及につながると考える。

全体会議

課題 2「妊娠・出産の安全性と快適性の確保と不妊への支援」の参加団体との全体会議は 3 回、開催された。各団体の取り組みと意見交換をした。

平成 14 年 10 月 22 日(火) 14:00～16:30

平成 15 年 10 月 28 日 14:00～16:30

平成 17 年 11 月 9 日(水) 14:00～16:30

健やか親子21推進協議会

課題3

小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備

NPO難病のこども支援全国ネットワーク

小林 信 秋

課題3グループの幹事団体

- 全国保健所長会
- 難病のこども支援全国ネットワーク
- 日本看護協会
- 日本小児科医会
- 日本小児科学会
- 日本小児看護協会
- 日本小児総合医療施設協議会
- 母子衛生研究会

年度ごとの幹事団体とこれまでの取り組みー1
平成13年(2001年)難病のこども支援全国ネットワーク
準備期間

平成14年(2002年)日本看護協会

シンポジウム「小児慢性特定疾患患児支援ネットワークを考える」

※全国養護教諭連絡協議会との連携のきっかけ。

平成15年(2003年)日本小児科医会

“麻疹撲滅”。毎年3月第1週を「予防接種週間」と定め、この運動に参加した小児科医院で、時間外や休日でも予防接種が受けられる体制がとられるようになった(日本小児科医会と日本医師会の連携)。

年度ごとの幹事団体とこれまでの取り組みー2

平成16年(2004年)全国保健所長会

“妊産婦、子育て中の飲酒・喫煙ゼロ”。都内の妊産婦の喫煙・飲酒の実態調査、妊産婦の喫煙・飲酒防止ポスター、妊婦の受動喫煙防止ストラップの作成・配布。

※全国保健所長会が中心となり実行。

平成17年(2005年)母子衛生研究会

平成17年から3年間、“事故防止”をテーマに厚生科研費にて実施。

課題3グループの全体会議開催。

平成18年(2006年)日本小児看護学会

“事故防止”

妊産婦の受動喫煙防止ストラップ



妊産婦の喫煙・飲酒防止ポスター



年度ごとの幹事団体とこれまでの取り組みー3

平成19年(2007年)日本小児科学会

“事故防止”

平成20年(2008年)日本小児総合医療施設協議会

フリーディスカッション

平成21年(2009年)難病のこども支援全国ネットワーク

「院内学級を持つ小児病棟」30.1%→26.1%

「遊戯室を持つ小児病棟」68.6%→37.0%

「在宅医療支援体制の整備」16.7%→14.1%

“健やか親子21シンポジウム”

平成21年11月13日(金)13:00~17:00

場所:国立成育医療センター講堂

“子どもの権利条約”

目標値調査の問題点(院内学級)

- 院内学級＝地域の小中学校が病院内に教室を開設し、教員も常駐している。
- 分教室＝特別支援学校(養護学校)が病院内に教室を開設し、教員も常駐している。
- 訪問教育＝病院からの依頼により、特別支援学校等から教員が派遣され、開設されている教室で授業する。
- 訪問教育＝児童が在籍している学校から教員が病院を訪問してベッドサイドで授業する。

目標値調査の問題点(在宅医療支援体制)

- 訪問看護サービス、訪問介護(医療的ケアの伴う)サービス、一時預かり(ショートステイやレスパイトケア)、リハビリテーション。
- 重症心身障害児・者のミドルステイ・ロングステイ。
- 年齢によるニーズの変化。
- 幼稚園・保育園、学校は子どもの療育にとって極めて有効。

課題3グループの問題点

各幹事団体からの意見

- 課題3は挙げられている事柄は多岐にわたり、かつ、多くは課題1、2、4と関連している。
- 幹事団体が固定しているので、同じテーマが続いてしまう傾向がある。
- 幹事団体の取りまとめ役も一回りして、そろそろ息切れがしている。延長される4年間は幹事団体の入れ替わりをして新しい視点で取り組みをしては・・・
- MRワクチンの接種率の調査を。各県毎の格差が大きいようだが数字がない。
- 小児保健法(案)の国会通過にご協力を。
- 慢性疾患児の在宅支援に“人”“金”の支援を！

NPO難病のこども支援全国ネットワーク 健やか親子21関連の活動

- 相談活動：電話相談室、遺伝（先天異常）特別相談、ピアサポート活動。
- 交流活動：サマーキャンプ“がんばれ共和国”を全国6ヶ所で開催、のべ900人が参加。
- 親の会活動支援：親の会連絡会、勉強会など。
- 社会啓発活動：病弱教育セミナー、養護教諭セミナー、こどもの難病シンポジウムの開催。プレイリーダー（遊びのボランティア）の養成と派遣。啓発人形劇「みんな友達」。

第4課題「子どもの心の安らかな 発達の促進と育児不安の軽減」

幹事団体代表 衛藤 隆(日本小児保健協会)

2009/2/4

第8回健やか親子21推進協議会総会

第4課題「子どもの心の安らかな発達の 促進と育児不安の軽減」幹事団体

- 児童虐待防止協会
- 全国児童相談所長会
- 全国保健センター連合会
- 全国保健婦長会
- 日本小児保健協会

(順不同)

2009/2/4

第8回健やか親子21推進協議会総会

課題の三本柱

- ①心の安らかな発達
- ②育児不安の軽減
- ③虐待防止

2009/2/4

第8回健やか親子21推進協議会総会

第4課題「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」

1. 心の安らかな発達

2009/2/4

第8回健やか親子21推進協議会総会

心の安らかな発達

- 子どもの心安らかな発達を促し、その環境形成を支援するための活動
 - 参加団体による日常的な様々な取り組み
 - 一般向け活動: 広報、知識の普及、グループワーク、相談・個別支援等
 - 組織内研修
 - 職種毎の研修

2009/2/4

第8回健やか親子21推進協議会総会

心の安らかな発達

(社)日本小児保健協会

- 先天性代謝異常等検査事業の廃止への反対声明(大阪府知事宛)
 - (社)日本小児科学会、(社)日本小児保健協会、(社)日本小児科医会、日本マス・スクリーニング学会各会長連名で声明を送付。平成20年4月
- 年次学会(札幌市、平成20年9月)にて「精神保健:心身障害他」にて5演題、「発育・発達:発達障害」にて15演題の発表と討議

2009/2/4

第8回健やか親子21推進協議会総会

第4課題「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」

2. 育児不安の軽減

2009/2/4

第8回健やか親子21推進協議会総会

親支援

- 虐待のグレーゾーン、ハイリスク群への対応
- 例) 孤立しがちな親を児童相談所が選び出し、グループワーク → 安心なところで話すことにためらいが薄れていく。自己効力感の形成。
- ハイリスクな親への支援。カウンセリング等の支援経費の捻出しばしば苦慮している現状。
- 積極的なアウトリーチの取り入れ。例) 家庭訪問等に。
- 病児保育: 子どもの目線で見ることが大切。

2009/2/4

第8回健やか親子21推進協議会総会

(社)日本小児保健協会

- 平成20年度小児保健奨励賞「実践活動助成」:鶴岡市すこやかな子どもを生み育てるネットワーク推進委員会の活動に対し、山形県小児保健協会に。
- 年次学会(札幌市、平成20年9月)にて「育児・保育:育児とストレス」のセッションにて5演題の発表と討議
 - これらを含め、育児・保育に関する41演題が発表され、熱心に討論された。

第4課題「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」

3. 虐待防止

虐待防止

- 被虐待児対策と予防活動
- 早期発見・早期治療
 - 地域諸団体・機関の連携をとった活動
 - 例) 要保護連絡協議会：幅広い対象年齢、情報共有、守秘義務
 - 協議会等を通じ、様々なアプローチ法が存在することが判明。各地域の経験知の蓄積と分析、総合化ないし類型化は可能か。
 - 機関の細分化から再統合へ

2009/2/4

第8回健やか親子21推進協議会総会

虐待防止

(社)日本小児保健協会

- 年次学会(札幌市、平成20年9月)にて「精神保健:被虐待」のセッションにて9演題の発表と討議
- 「小児保健セミナー in おきなわ」にて「小児救急医療現場で遭遇する児童虐待～小児保健医療関係者の連携のあり方～」の講演(市川光太郎氏[北九州市八幡病院救命救急センター])と討論。日時:平成21年1月25日(日), 会場:沖縄小児保健センター, 約200余名参加

2009/2/4

第8回健やか親子21推進協議会総会

健やか親子21推進協議会

第4課題の経験から

- 情報共有はかなり進む
 - 団体の存在さえ相互に知らぬ状態から進歩
- 子ども虐待にかかわる福祉関係では、市町村レベルでも60～70%は協議会組織をもっている。
- 例)市町村保健センターの保健師が調整役となり、各機関をつなぎ連携を推進。
- 経費の捻出は大きな問題

2009/2/4

第8回健やか親子21推進協議会総会

課題

- 各加盟団体の独自の活動の総和
 - 年1回の意見交換は貴重な機会
 - これ以上の活動が出来ていない
- 運営経費は幹事会代表幹事の所属団体の持ち出し

2009/2/4

第8回健やか親子21推進協議会総会

健やか親子21推進協議会参加団体の取組実績の調査について

1. 調査方法

プロセス（どう取り組んでいるか）とアウトプット（取組の事業量）の2本立てで調査

- (1) プロセス：当該団体が第1回中間評価以降（平成18年）の4年間「健やか親子21」に関してどのように取り組んできたかを振り返り、今後5年の具体的な目標を示していただく。
- (2) アウトプット：当該団体の「健やか親子21」に関する活動を数量的に調査し、実績としてまとめる。
 - <数量で表せる実績>
リーフレット類の配布、相談事業等の回数、大会・イベント回数
研修会・講習会回数、委員会・協議会開催回数、学会開催回数 等
 - <数量以外の実績>
調査研究事業等、ガイドライン・手引き・マニュアル等の作成
政策への提言等

2. 調査手順

(1) プロセス

- 推進協議会加入後1年以上経過したすべての団体に依頼
- プロセスチェックリストの第1回中間評価以降（平成18年から平成21年現在まで）を振り返って記載
- 過去4年（平成18年から平成21年まで）の取組における手応えや推進の難しさ、これからの推進方法への課題等自由記載を付加

(2) アウトプット

- すべての団体に依頼
- 事業実績シートの第1回中間評価以降（平成18年から平成21年現在まで）の4年分を記載
- 第1回中間評価の取組と比較して、良い点、悪い点についての自由記載を付加

(3) 調査期間

平成21年8月～9月予定

3. 留意点

団体への負担は軽く、効果は大きくなるような方法、手順で実施

健やか親子21推進協議会参加団体の取組実績の調査について

(調査票案)

プロセス（どう取り組んでいるか）とアウトプット（事業量）の2本立てで調査を実施。

調査の概要

1. 調査目的

「健やか親子21」の中間評価・見直しにあたり、健やか親子21推進協議会参加団体における第1回中間評価以降（平成18年）の取組のプロセスを振り返ることにより、今後5年間の取組の方向性を明確にする。

また、各団体の取組実績を調査することにより、課題に対する専門団体・民間団体としての取組を集積し、その貢献を社会にアピールする。

2. 調査方法

全ての団体を対象にした「調査票による調査」（別紙1～3）と、抽出された団体及び希望のあった団体を対象にした「インタビュー調査」を行います。

(1) 調査票による調査

この調査は、推進協議会加入後1年以上経過した全ての団体が対象です。

○「健やか親子21」推進のためのプロセスチェックリスト（別紙1）

貴団体が第1回中間評価以降（平成18年）からこれまでの4年間において「健やか親子21」に関してどのように取り組んできたかを振り返るチェックリストです。

回答はそれぞれ「はい・いいえ」または「1できない～5よくできた」の5段階のうちあてはまる番号に○をつけて下さい。

また、今後5年間の具体的な目標について記入してください。

○「健やか親子21」事業実績シート（主催）（別紙2）

貴団体が主催した（共催は別紙3に記入）「健やか親子21」に関する活動実績を調査するシートです。

第1回中間評価以降（平成18年から平成21年現在まで）の状況を記入してください。1～6の実績については、計上する期間を明記して下さい。7～9については「健やか親子21」の第1回中間評価以降の全ての実績を記入してください。

(記入上の留意点)

- 1→リーフレット、パンフレット類は、「健やか親子21」運動の趣旨が記載されている、
又はシンボルマークを使用しているものに限って計上してください。
- 2～6→「健やか親子21」の趣旨に沿って展開されている事業や大会等について計上
してください。
- 7～9→「健やか親子21」に関連すると判断されるものについて、幅広く記入してく
ださい。

○「健やか親子21」事業実績シート（連携）（別紙3）

貴団体が他団体と連携（共催）して実施した「健やか親子21」に関する活
動実績を調査するシートです。

記入要領は、別紙2と同様です。

(2) インタビュー調査

今回の調査に際し、紙面ではくみ取れない実績を具体的に調査するために、取組
が充実している団体やご希望の団体に対し、インタビュー調査を実施いたします。

インタビューは、基本的に(1)の調査票に沿った内容で行いますが、お話を伺
うと同時に、今後の計画策定や他団体との連携についても支援したいと考えており
ます。

対象となる団体には、事務局から連絡を差し上げます。インタビューのご希望が
ございましたら、事務局まで電子メール又はファックスでお知らせください。

3. 調査期間について

(1) 調査票の提出期限

平成21年※月※日

(2) インタビュー調査実施期間

平成21年※月～※月中旬目途

対象団体と事務局の間で調整

4. 事務局

厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 母子保健課
健やか親子21推進協議会事務局（担当：山口）

E-mail yamaguchi-michiko@mhlw.go.jp

FAX 03-3595-2680

(別紙1)

「健やか親子21」推進のためのプロセスチェックリスト

団体名 ()

◆次の項目について、「はい・いいえ」又は「1できない～5よくできた」の5段階のうちあてはまる番号に○をつけて下さい。(第1回中間評価以降(平成18年)から現在まで)

項 目	はい	いいえ	1できない～5よくできた		
1. 担当者を決めましたか。	はい	いいえ			
2. 「健やか親子21」の推進について活発に検討や議論を行いましたか。	1	2	3	4	5
3. 年次計画の中に「健やか親子21」関連の事業を盛り込みましたか。	はい	いいえ			
4. 取り組む課題を明確にしましたか。	1	2	3	4	5
5. 課題を達成させるための方策(事業)を明確にしましたか。	1	2	3	4	5
6. アウトカム指標(成果)の目標値を設定しましたか。	はい	いいえ			
7. アウトプット指標(事業量)の目標値を設定しましたか。	はい	いいえ			
8. 6および7の指標についてのモニタリング(データを集める)システムはありますか。	1	2	3	4	5
9. 定期的に取り組の評価を行いましたか。	1	2	3	4	5
10. 「健やか親子21」事業関連の予算を計上しましたか。	はい	いいえ			
11. 「健やか親子21」関連の研究事業などに参加しましたか。	1	2	3	4	5
12. 他の機関や団体との連携を図りましたか。	1	2	3	4	5
13. 自分の団体のホームページなどに取り組みを公表しましたか。	はい	いいえ			
14. 健やか親子21公式ホームページに情報を提供しましたか。	はい	いいえ			

○今後5年間の具体的目標

(追加案)

※上記1～14について、平成18年から平成20年までの取組における手応えや困難、課題等

※今後5年間の「健やか親子21」推進の方策等

(別紙2)

「健やか親子21」事業実績シート(主催)

団体名()

これは貴団体が主催した「健やか親子21」に関する活動実績を調査するシートです。

(第1回中間評価以降(平成18年)から現在まで)

◆1～6は計上する期間を明記し、名称、対象者、部数・件数・回数・人数を書いて下さい。

1. リーフレット、パンフレット類の種類と配布数 平成()～()年分	対象者	部
2. 相談事業(電話相談など)の種類と延べ件数 平成()～()年分		件
3. 大会などのイベントの開催回数と延べ参加者数 平成()～()年分	回	人
4. 研修会・講習会の開催回数と延べ参加者数 平成()～()年分	回	人
5. 委員会・協議会などの会議開催回数と延べ参加者数 平成()～()年分	回	人
6. 学会・研究会・発表会など開催回数と延べ参加者数 平成()～()年分	回	人

◆7～9は貴団体が「健やか親子21」第1回中間評価以降(平成18年～)現在までの状況の実績を記入して下さい。

7. 調査研究事業	
8. ガイドライン、手引き、マニュアル等の作成	対象者
9. 提言や要望書の提出など健康政策への関与	提出先

(追加案)

◆1～9に関して、第1回中間評価時に比べて良かったこと、悪かったこと 等

--

(別紙3)

「健やか親子21」事業実績シート(連携)

団体名()

これは貴団体が他団体と連携(共催)して実施した「健やか親子21」に関する活動実績を調査するシートです。

(第1回中間評価以降(平成18年)から現在まで)

◆1～6は計上する期間を明記し、名称、対象者、部数・件数・回数・人数を書いて下さい。

1. リーフレット、パンフレット類の種類と配布数 平成()～()年分	対象者	部
2. 相談事業(電話相談など)の種類と延べ件数 平成()～()年分		件
3. 大会などのイベントの開催回数と延べ参加者数 平成()～()年分	回	人
4. 研修会・講習会の開催回数と延べ参加者数 平成()～()年分	回	人
5. 委員会・協議会などの会議開催回数と延べ参加者数 平成()～()年分	回	人
6. 学会・研究会・発表会など開催回数と延べ参加者数 平成()～()年分	回	人

◆7～9は貴団体が「健やか親子21」第1回中間評価以降(平成18年～)現在までの状況の実績を記入して下さい。

7. 調査研究事業	
8. ガイドライン、手引き、マニュアル等の作成	対象者
9. 提言や要望書の提出など健康政策への関与	提出先

(追加案)

◆1～9に関して、第1回中間評価時に比べて良かったこと、悪かったこと 等

--

第1回「健やか親子21」の評価等に関する検討会 議事要旨

1. 日時:2009年3月25日(水) 9:30~11:30

2. 場所:航空会館 701・702 会議室

3. 出席者:柳澤座長、井上委員、今村委員、衛藤委員、岡本委員、奥山委員
桑原委員、斎藤委員、迫委員、高山委員、田中委員、三上委員
森田委員、山縣委員、渡辺委員

厚生労働省

村木雇用均等・児童家庭局長、北村審議官、高倉総務課長、宮崎母子保健課長
朝川少子化対策室長、杉上虐待防止対策室長、小林課長補佐、今村課長補佐
大内指導課専門官、山本生活習慣病対策室長補佐

4. 新たな取組に関する主な発言

- 妊婦健診の回数を入れてみてはどうか。最終評価で、公費負担の効果を判定できるのではないか。
- 目標値が「増加傾向へ」「半減」等、表現が曖昧。第1回中間評価のデータと今回のデータの動きから、平成26年における目標は、ある程度数値化できるのではないか。
- 母子保健の指標というのは社会経済状況と密接に関連している。社会経済状況のバックグラウンドがきちんと押さえられているような調査の必要があるのではないか。
- 妊娠、出産の快適性においては、院内助産システムの推進が出てきており、新たな指標も必要ではないか。
- 十代の自殺率といった課題は、(ベースラインと中間評価の)二次点の数値の比較ではなく、長期的な動態を見ないといけないのではないか。
- 少数の虫歯のある子どもが比較的重症な部分が多く、育児困難、ネグレクトと関連などが考えられており、その辺の重症う蝕に対する対応が必要。
- 女性の歯科の指標は年齢を増す毎に悪くなっており、思春期の口腔衛生に対する関心の低下、妊娠・出産、更年期の問題がある。
- 幼児期の子どもの身体面(体力の低下など)を見ておく必要があるのではないか。
- 都道府県や指定行政都市では、児童憲章に伴う条例がほとんどないため、「健やか親子21」の中のベースとして考えていただきたい。
- 朝食の欠食が大きな問題になっていくだろうと思う。親世代の欠食率が非常に高く、1歳から6歳までの子どもの欠食もまだ5~7%近くあるのではないかと指摘されているところであり、徹底的な活動が必要ではないか。

「健やか親子21」における取組の目標

資料5 ②

課題1 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進

- 1-1 十代の自殺率
- 1-2 十代の人工妊娠中絶実施率
- 1-3 十代の性感染症罹患率
- 1-4 15歳の女性の思春期やせ症（神経性食欲不振症）の発生頻度
- 1-5 児童・生徒における肥満児の割合
- 1-6 薬物乱用の有害性について正確に知っている小・中・高校生の割合
- 1-7 十代の喫煙率（※「健康日本21」4. 2未成年者の喫煙をなくす）
- 1-8 十代の飲酒率（※「健康日本21」5. 2未成年者の飲酒をなくす）
- 1-9 性行動による性感染症等の身体的影響等について知識のある高校生の割合
- 1-10 学校保健委員会を開催している学校の割合
- 1-11 外部機関と連携した薬物乱用防止教育等を実施している中学校、高校の割合
- 1-12 スクール・カウンセラーを配置している中学校（一定の規模以上）の割合
- 1-13 思春期外来（精神保健福祉センターの窓口を含む）の数
- 1-14 思春期保健対策に取り組んでいる地方公共団体の割合
- 1-15 食育の取組を推進している地方公共団体の割合（4-14再掲）

課題2 妊娠出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援

- 2-1 妊産婦死亡率
- 2-2 妊娠・出産について満足している者の割合
- 2-3 産後うつ病の発生率
- 2-4 妊娠11週以下での妊娠の届け出率
- 2-5 母性健康管理指導事項連絡カードを知っている就労している妊婦の割合
- 2-6 周産期医療ネットワークの整備
- 2-7 正常分娩緊急時対応のためのガイドラインの作成
- 2-8 産婦人科医・助産師数①
- 2-9 不妊専門相談センターの整備
- 2-10 不妊治療を受ける際に、患者が専門家によるカウンセリングが受けられる割合
- 2-11 不妊治療における生殖補助医療技術の適応に関するガイドラインの作成
- 2-12 出産後1か月時の母乳育児の割合（4-9再掲）

課題3 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備

- 3-1 周産期死亡率
- 3-2 全出生数中の極低出生体重児の割合・全出生数中の低出生体重児の割合
- 3-3 新生児死亡率・乳児（1歳未満）死亡率
- 3-4 乳児のSIDS死亡率
- 3-5 幼児（1～4歳）死亡率
- 3-6 不慮の事故死亡率
- 3-7 う歯のない3歳児の割合
- 3-8 妊娠中の喫煙率、育児期間中の両親の自宅での喫煙率
- 3-9 妊娠中の飲酒率
- 3-10 かかりつけの小児科医を持つ親の割合
- 3-11 休日・夜間の小児救急医療機関を知っている親の割合
- 3-12 事故防止対策を実施している家庭の割合
- 3-13 乳幼児がいる家庭で風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないよう工夫した家庭の割合
- 3-14 心肺蘇生法を知っている親の割合
- 3-15 乳児期にうつぶせ寝をさせている親の割合
- 3-16 6か月までにBCG接種を終了している者の割合
- 3-17 1歳6か月までに三種混合・麻しんの予防接種を終了している者の割合
- 3-18 初期、二次、三次の小児救急医療体制が整備されている都道府県の割合
- 3-19 事故防止対策を実施している市町村の割合
- 3-20 小児人口に対する小児科医・新生児科医・児童精神科医師の割合
- 3-21 院内学級・遊戯室を持つ小児病棟の割合
- 3-22 慢性疾患児等の在宅医療の支援体制が整備されている市町村の割合

課題4 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減

- 4-1 虐待による死亡数
- 4-2 法に基づき児童相談所等に報告があった被虐待児数
- 4-3 子育てに自信が持てない母親の割合
- 4-4 子どもを虐待していると思う親の割合
- 4-5 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合
- 4-6 育児について相談相手のいる母親の割合
- 4-7 育児に参加する父親の割合
- 4-8 子どもと一緒に遊ぶ父親の割合
- 4-9 出産後1か月時の母乳育児の割合（2-12再掲）
- 4-10 周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制が確立している保健所の割合
- 4-11 乳幼児の健康診査に満足している者の割合
- 4-12 育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査を行っている自治体の割合
- 4-13 乳児健診未受診児など生後4か月までに全乳児の状況把握に取り組んでいる市町村の割合
- 4-14 食育の取組を推進している地方公共団体の割合（1-15再掲）
- 4-15 子ども心の専門的な診療ができる医師がいる児童相談所の割合
- 4-16 情緒障害児短期治療施設数
- 4-17 育児不安・虐待親のグループの活動の支援を実施している保健所の割合
- 4-18 親子の心の問題に対応できる技術を持った小児科医の数

「健やか親子21」に関連する行政計画や国民運動計画の周期

	次世代育成支援対策推進法に基づく次世代育成行動計画 (都道府県・市町村・事業主)	子ども・子育て応援プラン (エンゼルプラン) (国)	母子保健計画 (市町村)	健やか親子21 (国民運動)	健康日本21 (国民運動)
平成6年 (1994年)					
平成7年 (1995年)		エンゼルプラン			
平成8年 (1996年)			計画策定		
平成9年 (1997年)					
平成10年 (1998年)					
平成11年 (1999年)					計画策定
平成12年 (2000年)		新エンゼルプラン		計画策定	
平成13年 (2001年)			計画の見直し		
平成14年 (2002年)					
平成15年 (2003年)					
平成16年 (2004年)	行動計画策定 ←		次世代育成行動計画に包括		
平成17年 (2005年)	行動計画の推進(前期)	子ども・子育て応援プラン		第1回中間評価	
平成18年 (2006年)					中間評価
平成19年 (2007年)					
平成20年 (2008年)					
平成21年 (2009年)	行動計画の見直し			第2回中間評価	
平成22年 (2010年)	行動計画の推進(後期)	(新プラン)		<期間延長> 平成22年までとしていたが、次世代育成行動計画に合わせ、平成26年までとする。	<期間延長> 平成22年度までとしていたが、医療費適正化計画等との整合性を図る観点から、平成24年
平成23年 (2011年)					
平成24年 (2012年)					
平成25年 (2013年)					
平成26年 (2014年)					

「健やか親子21」第2回中間評価の進め方

< A 指標（目標値）のデータ収集・分析・評価・検討 >

① 各種調査・研究により収集されたデータに基づき、各指標について達成度の分析・評価を行う。

③ 新たなニーズに対する指標の設定について、検討を行い、追加する指標について、現状値を明らかにするとともに、今後の目標（値）を設定する。

< B 各機関等の取組状況の分析・評価・検討 >

② 健やか親子21推進協議会、地方公共団体、国の取組状況の分析・評価を行う。

< C 今後の推進体制及び推進方策等の検討 >

④ 健やか親子21推進協議会、地方公共団体、国における効果的・効率的な活動方策について検討する。

⑤ 「健やか親子21」の今後の推進方策について検討する。

⑥ 「健やか親子21」第2回中間評価に関する報告書とりまとめ

親と子の健康度調査アンケートのお願い

厚生労働科学研究費補助金・子ども家庭総合研究事業

主任研究者 山縣然太郎(山梨大学医学部医学科社会医学講座)

21世紀の子どもと親の健康づくりを進める国民運動計画として、厚生労働省の検討会により「健やか親子21」が策定されて9年目を迎えました。この間に子どもと親の心身の健康状態が、どれくらい改善されたかを明らかにし、今後のサービスの充実に役立てるために、「健やか親子21」中間評価の一環として、調査を実施しています。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、お子さんの健康度などについてのアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。ご記入いただいた内容は、集計して分析に用いるほか、自治体によっては今回の健診にも活用されますが、その他の目的には使用いたしません。ご記入いただいたアンケートは、健診会場で係員にお渡しください(返信用封筒が渡されている場合は、それを用いて返信してください)。

なお、このアンケートで「お子さん」というのは、今回、3か月児健診または4か月児健診を受けられるお子さんのことを指します。また、「お母さん」「お父さん」とは、この「お子さん」の母親、父親である方を指します。

問1 お子さんは何番目のお子さんですか。

1. 第1子 2. 第2子 3. 第3子 4. 第4子以降 ()

問2 お子さんの性別 男 ・ 女

このお子さんを妊娠、出産した時の状況について、お伺いします。

問3 出産はどこでされましたか。

1. 病院 2. 診療所(産科医院) 3. 助産所 4. その他 ()

問4 出産された時のお母さんの年齢

1. ~19歳 2. 20~24歳 3. 25~29歳 4. 30~34歳
5. 35~39歳 6. 40歳~

問5 産科施設では母児同室でしたか。

1. 24時間同室 2. 日中のみ同室 3. 別室

問6 お子さんの出生時の妊娠期間と体重を教えてください(母子健康手帳でご確認ください)。

妊娠期間 _____ 週 体重 _____ g

問7 妊娠・出産についての状況はいかがでしたか。

1. とても満足している 2. 満足している
3. 満足していない 4. 全く満足していない

問8 妊娠・出産に関して、以下の項目はあなた（お母さん）にとって満足でしたか。

はい：○、いいえ：×、どちらとも言えない：△をつけてください。

（該当しない場合は斜線「/」を引いてください）

	項目	評価
1	出産する場所（医療機関・助産所など）に関する情報を十分に得ることができましたか。	
2	自分が希望する場所で出産の予約ができましたか。	
3	出産した場所までの距離、交通の便、かかる時間に満足できましたか。	
4	出産した場所の設備や食事など、環境面での快適さには満足できましたか。	
5	妊娠中、健康管理に自分から積極的に取り組みましたか。	
6	妊娠中、助産師からの指導・ケアは十分に受けることができましたか。	
7	出産中、医療関係者に大切にされていると感じましたか。	
8	出産した後、出産体験を助産師等とともに振り返ることができましたか。	
9	産後の入院中、助産師からの指導・ケアは十分に受けることができましたか。	
10	産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができましたか。	
11	妊娠中、周囲の人はタバコを吸わないようにしてくれましたか。	
12	妊娠・出産に関して、夫（お父さん）の理解や対応に満足できましたか。	
13	妊娠・出産に関して、夫（お父さん）以外の、家族や親族の理解や対応に満足できましたか。	
14	妊娠、出産に関して、職場の理解や対応に満足できましたか。	
15	妊娠、出産に関して、社会の理解や対応に満足できましたか。	

問9 次のお子さんを産みたいと思いますか。

1. はい 2. どちらかといえば、はい
3. どちらかといえば、いいえ 4. いいえ

問10 妊娠しているとわかった時の、あなた（お母さん）の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり（1日 本）

問11 あなた（お母さん）が妊娠しているとわかった時の、夫（お父さん）の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり（1日 本）

問12 妊娠中のあなた（お母さん）の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり（1日 本）

問13 あなた（お母さん）が妊娠中、夫（お父さん）の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり（1日 本）

問14 妊娠しているとわかった時の、あなた（お母さん）の飲酒はどうでしたか。

1. なし 2. あり

- ↳ 1. 月に1～2回 2. 週に1～2回 3. 週3回以上

問 15 妊娠中のあなた（お母さん）の飲酒はどうでしたか。

1. なし 2. あり

- ↳ 1. 妊娠中に10回未満 2. 月に1～2回
3. 週に1～2回 4. 週3回以上

問 16 妊娠中、働いていましたか。

1. 働いていない 2. 働いていたことがある

↳ その期間内に「母性健康管理指導事項連絡カード」があることを知っていましたか

1. 知っていた 2. 知らなかった

↳ その期間内に「母性健康管理指導事項連絡カード」を実際に使用しましたか

1. 使用した 2. 使用しなかった

問 17 妊娠中、マタニティマークを知っていましたか。

1. 知らなかった 2. 知っていた

↳ マタニティマークを身に付けたりするなどして利用したことがありますか。

1. 利用したことがある 2. 利用したことはない

↳ 利用して効果を感じたことがありますか

1. 感じたことがある 2. 感じたことはない

問 18 生後1か月時の栄養法はどうでしたか。

1. 母乳 2. 人工乳 3. 混合

現在の子育ての状況についてお伺いします。

問 19 現在の子育ての状況はいかがですか。

1. 満足している 2. まあ満足している
3. あまり満足していない 4. 満足していない

問 20 現在、お母さんは働いていますか。

1. 働いている 2. 育児休業中である 3. 働いていない

問 21 お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

問 22 お母さんは育児に自信が持てないことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

問 23 お母さんは子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

↳それは、どのようなことですか。(いくつ○をつけてもかまいません)

1. たたくなど 2. 食事を長時間与えないなどの制限や放置
3. しつけのし過ぎ 4. 感情的な言葉 5. その他 ()

問 24 お父さんは育児をしていますか。

1. よくやっている 2. 時々やっている
3. ほとんどしない 4. 何ともいえない

問 25 お父さんはお子さんとよく遊んでいますか。

1. よく遊んでいる 2. 時々遊ぶことがある 3. ほとんど遊ばない

問 26 お母さんにとって日常の育児の相談相手は誰ですか。

(いくつ○をつけてもかまいません)

1. 夫婦で相談する 2. 祖母(または祖父) 3. 近所の人 4. 友人
5. かかりつけの医師 6. 保健師や助産師 7. 保育士や幼稚園の先生
8. 電話相談 9. インターネット
10. その他 () 11. 誰もいない

問 27 お子さんを寝かせ始める時は、どのように寝かせていますか。

1. あおむけ寝 2. うつぶせ寝 3. 決めていない 4. その他 ()

問 28 かかりつけの医師はいますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

問 29 現在の栄養法はどうですか。

1. 母乳 2. 人工乳 3. 混合

問 30 お母さんの現在の喫煙はどうですか。

1. なし 2. あり(1日 本)

問 31 お父さんの現在の喫煙はどうですか。

1. なし 2. あり(1日 本)

問 32 最後に、記入していただいた方のお子さんとの続柄をお書きください。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他

ご協力ありがとうございました

親と子の健康度調査アンケートのお願い

厚生労働科学研究費補助金・子ども家庭総合研究事業

主任研究者 山縣然太朗 (山梨大学医学部医学科社会医学講座)

21世紀の子どもと親の健康づくりを進める国民運動計画として、厚生労働省の検討会により「健やか親子21」が策定されて9年目を迎えました。この間に子どもと親の心身の健康状態が、どれくらい改善されたかを明らかにし、今後のサービスの充実に役立てるために、「健やか親子21」中間評価の一環として、調査を実施しています。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、お子さんの健康度などについてのアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。ご記入いただいた内容は、集計して分析に用いるほか、自治体によっては今回の健診にも活用されますが、その他の目的には使用いたしません。ご記入いただいたアンケートは、健診会場で係員にお渡しください(返信用封筒が渡されている場合は、それを用いて返信してください)。

なお、このアンケートで「お子さん」というのは、今回、1歳6か月児健診を受けられるお子さんのことを指します。また、「お母さん」「お父さん」とは、この「お子さん」の母親、父親である方を指します。

問1 お子さんは何番目のお子さんですか。

1. 第1子 2. 第2子 3. 第3子 4. 第4子以降 ()

問2 お子さんの性別 男 ・ 女

このお子さんを妊娠、出産した時の状況について、お伺いします。

問3 出産はどこでされましたか。

1. 病院 2. 診療所(産科医院) 3. 助産所 4. その他 ()

問4 出産された時のお母さんの年齢

1. ~19歳 2. 20~24歳 3. 25~29歳 4. 30~34歳
5. 35~39歳 6. 40歳~

問5 お子さんの出生時の妊娠期間と体重を教えてください(母子健康手帳でご確認ください)。

妊娠期間 _____ 週 体重 _____ g

問6 妊娠・出産についての状況はいかがでしたか。

1. とても満足している 2. 満足している
3. 満足していない 4. 全く満足していない

問7 妊娠しているとわかった時の、あなた(お母さん)の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり(1日 本)

問8 あなた(お母さん)が妊娠しているとわかった時の、夫(お父さん)の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり(1日 本)

問9 妊娠中のあなた(お母さん)の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり(1日 本)

問10 あなた(お母さん)が妊娠中、夫(お父さん)の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり(1日 本)

問11 妊娠しているとわかった時の、あなた(お母さん)の飲酒はどうでしたか。

1. なし 2. あり

- ↳ 1. 月に1~2回 2. 週に1~2回 3. 週3回以上

問12 妊娠中のあなた(お母さん)の飲酒はどうでしたか。

1. なし 2. あり

- ↳ 1. 妊娠中に10回未満 2. 月に1~2回
3. 週に1~2回 4. 週3回以上

現在の子育ての状況についてお伺いします。

問13 現在の子育ての状況はいかがですか。

1. 満足している 2. まあ満足している
3. あまり満足していない 4. 満足していない

問14 現在、お母さんは働いていますか。

1. 働いている 2. 育児休業中である 3. 働いていない

問15 お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

問16 お母さんは育児に自信が持てないことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

問17 お母さんは子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

↳それは、どのようなことですか。(いくつ○をつけてもかまいません)

1. たたくなど 2. 食事を長時間与えないなどの制限や放置
3. しつけのし過ぎ 4. 感情的な言葉 5. その他()

問18 お父さんは育児をしていますか。

1. よくやっている 2. 時々やっている
3. ほとんどしない 4. 何ともいえない

問19 お父さんはお子さんとよく遊んでいますか。

1. よく遊んでいる 2. 時々遊ぶことがある 3. ほとんど遊ばない

問 20 お母さんにとって日常の育児の相談相手は誰ですか。

(いくつか○をつけてもかまいません)

1. 夫婦で相談する
2. 祖母 (または祖父)
3. 近所の人
4. 友人
5. かかりつけの医師
6. 保健師や助産師
7. 保育士や幼稚園の先生
8. 電話相談
9. インターネット
10. その他 ()
11. 誰もいない

問 21 お子さんを寝かせ始める時は、どのように寝かせていますか。

1. あおむけ寝
2. うつぶせ寝
3. 決めていない
4. その他 ()

問 22 かかりつけの医師はいますか。

1. はい
2. いいえ
3. 何ともいえない

問 23 休日や夜間にお子さんが急病の時、診察してもらえる医療機関を知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

問 24 あなたは心肺蘇生法 (心臓マッサージなどの救急処置) を知っていますか。

1. 知っている
2. 少し知っている
3. 知らない

問 25 これまでに乳幼児健診は主にどこで受けましたか。

1. 保健センターや保健所の集団健診
2. 開業医・診療所
3. 病院
4. 受けていない
5. その他 ()

問 26 健診についての状況はいかがでしたか。

1. とても満足している
2. 満足している
3. 満足していない
4. 全く満足していない

問 27 健診を受けた感想はいかがですか。(あてはまるもの全て○をつけてください)

1. 信頼がおけて安心できた
2. 医師や保健師の話が勉強になった
3. 栄養士の話がためになった
4. 心理士の相談がためになった
5. もっとゆっくりした時間が欲しかった
6. 個別の相談がしたかった
7. 決まりだから受けた
8. 知っていることばかり教えられた
9. 形式的だった
10. 友達ができて良かった
11. その他 ()

問 28 BCG接種を済ませましたか。(母子健康手帳で確認してください)

1. はい
2. いいえ

↳ 接種したのはいつですか。

1. 生後3か月まで
2. 3か月～6か月まで
3. 6か月～1歳まで
4. 1歳以降

問 29 三種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風) の予防接種 (I期初回3回) を済ませましたか。

1. はい
2. いいえ

↳ I期初回3回が済んだのはいつですか。

1. 1歳まで
2. 1歳～1歳6か月まで
3. 1歳6か月以降

問 30 麻疹（はしか）の予防接種を済ませましたか。（麻しん風しん混合ワクチンも含む）

1. 1歳過ぎてから接種した 2. 0歳の時にのみ接種した 3. いいえ

↳ 接種したのはいつですか。

1. 1歳～1歳3か月まで 2. 1歳3か月～1歳6か月まで
3. 1歳6か月以降

問 31 お母さんの現在の喫煙はどうか。

1. なし 2. あり（1日 本）

問 32 お父さんの現在の喫煙はどうか。

1. なし 2. あり（1日 本）

問 33 子どもの事故について、お尋ねします。あてはまるもの1つに○をつけてください

1) ベビー用品やおもちゃを購入するとき、デザインよりも安全性を重視していますか。

1. はい 2. いいえ

2) 子どもを家に一人残して出かけることや、車の中に一人で乗せておくことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

3) 自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

4) 浴槽に水をためたままにしないように注意していますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

5) 浴室のドアには、子どもが一人で開けることができないような工夫がしてありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

6) タバコや灰皿はいつも子どもの手の届かないところに置いていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

7) ピーナッツやあめ玉などは子どもの手の届かないところに置いていますか。

1. はい 2. いいえ

8) 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置いていますか。

1. はい 2. いいえ

9) ポットや炊飯器は子どもの手の届かないところに置いていますか。

1. はい 2. いいえ

10) ストーブやヒーターなどは安全柵で囲い、子どもが直接触れないようにしていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

11) 階段に転落防止用の柵を取り付けていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

問 34 最後に、記入していただいた方のお子さんとの続柄をお書きください。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他

ご協力ありがとうございました

親と子の健康度調査アンケートのお願い

厚生労働科学研究費補助金・子ども家庭総合研究事業

主任研究者 山縣然太郎 (山梨大学医学部医学科社会医学講座)

21世紀の子どもと親の健康づくりを進める国民運動計画として、厚生労働省の検討会により「健やか親子21」が策定されて9年目を迎えました。この間に子どもと親の心身の健康状態が、どれくらい改善されたかを明らかにし、今後のサービスの充実に役立てるために、「健やか親子21」中間評価の一環として、調査を実施しています。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、お子さんの健康度などについてのアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。ご記入いただいた内容は、集計して分析に用いるほか、自治体によっては今回の健診にも活用されますが、その他の目的には使用いたしません。ご記入いただいたアンケートは、健診会場で係員にお渡しください(返信用封筒が渡されている場合は、それを用いて返信してください)。

なお、このアンケートで「お子さん」というのは、今回、3歳児健診を受けられるお子さんのことを指します。また、「お母さん」「お父さん」とは、この「お子さん」の母親、父親である方を指します。

問1 お子さんは何番目のお子さんですか。

1. 第1子 2. 第2子 3. 第3子 4. 第4子以降 ()

問2 お子さんの性別 男 ・ 女

このお子さんを妊娠、出産した時の状況について、お伺いします。

問3 出産はどこでされましたか。

1. 病院 2. 診療所(産科医院) 3. 助産所 4. その他 ()

問4 出産された時のお母さんの年齢

1. ~19歳 2. 20~24歳 3. 25~29歳 4. 30~34歳
5. 35~39歳 6. 40歳~

問5 お子さんの出生時の妊娠期間と体重を教えてください(母子健康手帳でご確認ください)。

妊娠期間 _____ 週 体重 _____ g

問6 妊娠・出産についての状況はいかがでしたか。

1. とても満足している 2. 満足している
3. 満足していない 4. 全く満足していない

問7 妊娠しているとわかった時の、あなた（お母さん）の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり (1日 本)

問8 あなた（お母さん）が妊娠しているとわかった時の、夫（お父さん）の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり (1日 本)

問9 妊娠中のあなた（お母さん）の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり (1日 本)

問10 あなた（お母さん）が妊娠中、夫（お父さん）の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり (1日 本)

問11 妊娠しているとわかった時の、あなた（お母さん）の飲酒はどうでしたか。

1. なし 2. あり

↳ 1. 月に1～2回 2. 週に1～2回 3. 週3回以上

問12 妊娠中のあなた（お母さん）の飲酒はどうでしたか。

1. なし 2. あり

↳ 1. 妊娠中に10回未満 2. 月に1～2回
3. 週に1～2回 4. 週3回以上

問13 1歳になるまでの間、お子さんを寝かせ始める時は、どのように寝かせていましたか。

1. あおむけ寝 2. うつぶせ寝 3. 決めていない 4. その他 ()

現在の子育ての状況についてお伺いします。

問14 現在の子育ての状況はいかがですか。

1. 満足している 2. まあ満足している
3. あまり満足していない 4. 満足していない

問15 現在、お母さんは働いていますか。

1. 働いている 2. 育児休業中である 3. 働いていない

問16 お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

問17 お母さんは育児に自信が持てないことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

問18 お母さんは子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

↳それは、どのようなことですか。(いくつ○をつけてもかまいません)

1. たたくなど 2. 食事を長時間与えないなどの制限や放置
3. しつけのし過ぎ 4. 感情的な言葉 5. その他 ()

問 19 お父さんは育児をしていますか。

1. よくやっている
2. 時々やっている
3. ほとんどしない
4. 何ともいえない

問 20 お父さんはお子さんとよく遊んでいますか。

1. よく遊んでいる
2. 時々遊ぶことがある
3. ほとんど遊ばない

問 21 お母さんにとって日常の育児の相談相手は誰ですか。

(いくつ○をつけてもかまいません)

1. 夫婦で相談する
2. 祖母 (または祖父)
3. 近所の人
4. 友人
5. かかりつけの医師
6. 保健師や助産師
7. 保育士や幼稚園の先生
8. 電話相談
9. インターネット
10. その他 ()
11. 誰もいない

問 22 かかりつけの医師はいますか。

1. はい
2. いいえ
3. 何ともいえない

問 23 休日や夜間にお子さんが急病の時、診察してもらえる医療機関を知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

問 24 あなたは心肺蘇生法 (心臓マッサージなどの救急処置) を知っていますか。

1. 知っている
2. 少し知っている
3. 知らない

問 25 これまでに乳幼児健診は主にどこで受けましたか。

1. 保健センターや保健所の集団健診
2. 開業医・診療所
3. 病院
4. 受けていない
5. その他 ()

問 26 健診についての状況はいかがでしたか。

1. とても満足している
2. 満足している
3. 満足していない
4. 全く満足していない

問 27 健診を受けた感想はいかがですか。(あてはまるもの全て○をつけてください)

1. 信頼がおけて安心できた
2. 医師や保健師の話が勉強になった
3. 栄養士の話がためになった
4. 心理士の相談がためになった
5. もっとゆっくりした時間が欲しかった
6. 個別の相談がしたかった
7. 決まりだから受けた
8. 知っていることばかり教えられた
9. 形式的だった
10. 友達ができて良かった
11. その他 ()

問 28 お母さんの現在の喫煙はどうですか。

1. なし
2. あり (1日 本)

問 29 お父さんの現在の喫煙はどうですか。

1. なし
2. あり (1日 本)

問 30 子どもの事故について、お尋ねします。あてはまるもの1つに○をつけてください

1) 子どもを家に一人残して出かけることや、車の中に一人で乗せておくことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

2) 自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

3) 浴槽に水をためたままにしないように注意していますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

4) 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置いていますか。

1. はい 2. いいえ

5) ピーナッツやあめ玉などは子どもの手の届かないところに置いていますか。

1. はい 2. いいえ

6) タバコや灰皿はいつも子どもの手の届かないところに置いていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

7) ストーブやヒーターなどは安全柵で囲い、子どもが直接触れないようにしていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

8) お箸や歯ブラシなどをくわえて走り回ることがありますか。

1. はい 2. いいえ

9) すべり台やブランコの安全な乗り方を教えていますか。

1. はい 2. いいえ

10) ベランダや窓の側に、踏み台になるものがありますか。

1. はい 2. いいえ

問 31 最後に、記入していただいた方のお子さんとの続柄をお書きください。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他

ご協力ありがとうございました

「健やか親子21」の推進状況に関する実態調査票

都道府県用

都道府県名 ()

課 記入者名

電話

FAX

調査票の記入に際しての留意事項

この調査は母子保健の国民運動計画である「健やか親子21」の第2回中間評価の資料となるものです。これまでの取組の状況と今後の取組の計画についてお答え下さい。

1. 回答については、該当する選択肢を選んでその番号に○をつけてください。ただし、問4(2)(3)については該当する数字を記入してください。

2. 設問や選択肢の中の表現については、以下のようにお考えください。

問5-①「充実した」

予算額だけの評価ではなく、事業の見直しや関係機関との連携強化などにより、事業の質を向上させた場合も含む

問5-①「縮小した」

予算額の大幅な削減、または、投入する労力の減少

問5-②「定期的」

毎年、もしくは2～5年など間隔を決めている

問5-③「関係機関」

庁外の公的機関や施設(教育委員会を含む)

問5-⑤, ⑥「具体的に」

計画書に当該対策について、具体的な取組が記載されている

問5-⑤, ⑥「項目のみ」

計画書に「〇〇対策に取り組む」といった項目だけの記述がされている

問5-⑦「成果(アウトカム)指標」

「健やか親子21」の「保健水準の指標」や「住民自らの行動の指標」のように、母子保健活動の成果として期待される子どもや親の状態や行動に関する目標

問5-⑧「事業量の目標」

「健やか親子21」の「行政・関係機関等の取組の指標」のように、取組の有無や事業やサービスの回数、その利用者数など事業量に関する目標(健康診査の受診率も含む)

問1 都道府県版の「健やか親子21」の中間評価を行いましたか。あてはまる状況に1つだけ○をつけてください。

1. 「健やか親子21」単独の中間評価をおこなった
2. 次世代育成支援行動計画等、他の計画の一部として中間評価をおこなった
3. その他の形で中間評価をおこなった(具体的に)
4. 中間評価は行わなかった
5. 「健やか親子21」が策定されていなかった、もしくは他の計画にも盛り込まれていなかった

問2 「健やか親子21」の推進状況やその課題について、住民や関係者と協議を行っていますか。

1. 母子保健運営協議会等で協議をしている
2. 健康づくり推進協議会等で他の世代の保健事業と一緒に協議をしている
3. その他()の協議会等で一緒に協議をしている
4. 協議の機会を特に持っていない

問3 「健やか親子21」の推進に関わっている方(担当者)が、下記の計画の策定に関わっていますか。関わり方について、あてはまる欄に○をつけてください(それぞれの計画策定につき1つずつ○をつけて下さい)。

	1.策定の主体となつて取り組んだ	2.主管部署と共同で策定した	3.主管部署から意見聴取をされた	4.策定にはほとんど関わっていない	5.計画が策定されていない
次世代育成支援行動計画	1	2	3	4	5
健康増進計画	1	2	3	4	5
食育推進計画	1	2	3	4	5
医療計画(周産期医療)	1	2	3	4	5
医療計画(小児医療)	1	2	3	4	5

問4 「健やか親子21」や「子ども・子育て応援プラン」等に盛り込まれた個別の施策に関する平成21年度の取り組み状況についてお尋ねします。

(1) 都道府県における取組の有無をお答えください。

(都道府県用)		1. 取り組んでいる	2. 取り組んでいない
思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	人工妊娠中絶、性感染症、薬物乱用問題に関する取組の推進	1	2
妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援	満足できる「いいお産」について医療機関等と連携した取組の推進	1	2
	産科医師の確保・育成	1	2
	助産師の確保・育成	1	2
母乳育児の推進	医療機関等関係機関・団体と連携した取組の推進	1	2
	授乳室の設置など授乳しやすい環境づくりの促進	1	2
小児保健医療水準を維持・向上	小児科医師の確保・育成	1	2
	小児の二次救急体制の整備	1	2
食育の推進	効果的な情報提供体制の整備	1	2
	関係機関等のネットワークづくりの促進	1	2
	食育の取り組み事例の収集及び検証の促進	1	2
子どもの生活習慣の改善	教育委員会との連携を活用した取り組みの推進	1	2

(2) 以下の項目について、該当する保健所の数をお答えください。

該当保健所数 / 保健所総数

子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減	周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制が確立している保健所の数	/
	育児不安・虐待にかかる親のグループ活動支援を実施している保健所の数	/

(3) 以下の項目について、該当する箇所数をお答えください。

精神保健福祉センターが把握している思春期関連の相談ができる医療機関の数	箇所
※精神保健福祉センターが把握していない場合は、保健所での把握数をお書きください。なお、その場合、医療機関を把握している保健所の数を備考にお書きください。また、精神保健福祉センター、保健所ともに把握していない場合は、その旨備考にお書きください。ただし、政令市・特別区の情報は加えないでください。	(備考)

設置箇所数 / 小児病棟を持つ病院

小児病棟を持つ病院における院内学級(養護学校の分室を含む)の設置数	/
小児病棟を持つ病院における遊戯室(プレイルーム)設置数	/

※NICU、新生児病棟は小児病棟に含まない。ただし、政令市・特別区の情報は加えないでください。

子どもの心の専門的な診療ができる常勤医師がいる児童相談所数	箇所
子どもの心の専門的な診療ができる医師(兼任・嘱託・非常勤等)がいる児童相談所数	箇所
管内の全児童相談所数	箇所

※ 子どもの心の専門的な診療ができる医師とは、児童精神科医師を指します。
 ※ 指定都市、横須賀市、金沢市を除いてお答え下さい。

問5 各種母子保健対策の取り組み状況についてお尋ねします。

	①平成18年* 以降、取組を 充実させたか* 2	②課題に ついて地 域の現状 を把握し ているか	③現在の取組に ついて、連携し て取り組んで いる部署や組織・ 団体に○をつけ て下さい (複数回答可)	④都道府県 の課題とし て、どのよう に認識してい るか	⑤次世代 育成支援 行動計画* 3に盛り込ま れているか	⑥健康増 進計画な ど他の都 道府県の 計画に盛 り込まれ ているか	⑦いづれ かの計画 で成果 (アウトカ ム)指標 を明確に している か	⑧いづれ かの計画 で事業量 の目標を 明確にし ているか
	1. 充実した 2. ある程度充実 3. 不変 4. 縮小した 5. 未実施	1. 定期的 に把握 2. 不定期 に把握 3. 未把握	1. 庁内他部局 2. 市町村 3. 関係機関 4. 関係団体 (医師会など) 5. 住民組織・団 体(NPOを含む)	1. 極めて重要 2. 重要 3. それほど重 要でない 4. 重要でない	1. 具体的に 2. 項目のみ 3. 盛り込ま れていない	1. 具体的に 2. 項目のみ 3. 盛り込ま れていない	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
十代の人工妊娠中絶防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
十代の性感染症予防対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
十代の喫煙防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
十代の飲酒防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
十代の薬物乱用防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
思春期の心の健康対策 (自殺や思春期やせ症等の予防)	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
妊娠中の飲酒防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
妊娠中の喫煙防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
「いいお産」の普及	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
不妊専門相談センターの整備	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
周産期医療ネットワークの整備	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
母乳育児の推進	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
産後うつ対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
小児期からの生活習慣病対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
予防接種率の向上対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
「かかりつけ医」*4の確保対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
小児救急医療対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
子どもの事故防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
慢性疾患児等の在宅医療の支援	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
児童虐待の発生予防対策 (高リスクアプローチ)	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
親と子の心の健康づくり対策 (集団アプローチ)	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
食育の推進	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
乳幼児期のむし歯対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2

*1 国の「健やか親子21」の第1回中間評価については、平成17年に調査実施、平成18年に見直しがおこなわれました。その年を指しています。

*2 他部局との連携をもとに充実した場合も含まれます。

*3 次世代育成支援行動計画について、後期計画を既に策定している場合は後期の状況についてお答え下さい。それ以外は前期計画についてお答え下さい。

*4 「かかりつけ医」とは小児科医に限らず、子どもがいつでも特定の医師や病院にかかることができることを指します。

問6 国の「健やか親子21」の第1回中間評価を受けて重点課題とされた下記の5項目について、平成18年以降に新たな対策事業を展開していますか。あてはまる項目に○をつけてください(いくつでも○をつけて構いません)。

1. 思春期の自殺防止
2. 思春期の性感染症罹患の防止
3. 産婦人科医師、助産師等の産科医療を担う人材の確保
4. 小児の事故防止をはじめとする安全な子育て環境の確保
5. 子ども虐待防止対策の取組の強化
6. 食育の推進
7. いずれにもあてはまらない

問7 平成18年以降、「健やか親子21」を推進するための新たな連携の枠組みを構築しましたか。(例:思春期やせ対策のための教育委員会との連携)

1. はい
2. いいえ

問8 「健やか親子21」を推進するための各種情報の利活用についてお伺いします。

(1) 都道府県内における母子保健統計情報を市町村の状況を統計的に比較できる形で、冊子や電子媒体(ホームページなど)にまとめていますか(○はいくつつけても構いません)。また、()内に数値・文字を入れてください。ただし、情報の利活用とは、情報の収集・分析・還元および対策の立案等とします。

1. 定期的に母子保健統計情報を単一で冊子にてまとめている
…()年ごと、冊子名()
2. 定期的に母子保健統計情報を他の情報と合わせた形で冊子にまとめている
…()年ごと、冊子名()
3. 定期的に母子保健統計情報を単一で電子媒体にてまとめている…()年ごと
4. 定期的に母子保健統計情報を他の情報と合わせ電子媒体にまとめている…()年ごと
5. 定期的なまとめはしていない

(2) 保健所レベルもしくは都道府県レベルで、管内市町村の母子保健統計情報をどのように利活用していますか。取り組んでいる項目に○をつけてください(いくつでも○をつけて構いません)。

1. 管内全体の集計・分析と市町村への報告
2. 管内全体の年次推移集計・分析と市町村への報告
3. 管内全体の集計・分析結果からの課題の抽出と管内における対策の立案
4. 各市町村別の集計・分析と市町村への報告(他市町村との比較可能な形)
5. 各市町村別の年次推移集計と市町村への報告(他市町村との比較可能な形)
6. 各市町村別の課題抽出と市町村への報告
7. 各市町村別の課題抽出と市町村における対策立案への関わり(指導、助言、技術的援助)
8. その他()

問9 「健やか親子21」に関連する都道府県レベルのユニークな(独自の)取組があれば教えてください。事業名と内容・特色を簡潔に記入してください。

事業名:

開始年度～終了年度:

特色:

「健やか親子21」の推進状況に関する実態調査票

政令市・特別区用

自治体名 () 自治体コード ()

課 記入者名

電話

FAX

調査票の記入に際しての留意事項

この調査は母子保健の国民運動計画である「健やか親子21」の第2回中間評価の資料となるものです。これまでの取り組みの状況と今後の取り組みの計画についてお答え下さい。

1. 回答については、該当する選択肢を選んでその番号に○をつけてください。ただし、問4(2)については該当する数字を記入してください。

2. 設問や選択肢の中の表現については、以下のようにお考えください。

問6-①「充実した」

予算額だけの評価ではなく、事業の見直しや関係機関との連携強化などにより、事業の質を向上させた場合も含む

問6-①「縮小した」

予算額の大幅な削減、または、投入する労力の減少

問6-②「定期的」

毎年、もしくは2～5年など間隔を決めている

問6-③「関係機関」

庁外の公的機関や施設(教育委員会を含む)

問6-⑤, ⑥「具体的に」

計画書に当該対策について、具体的な取組が記載されている

問6-⑤, ⑥「項目のみ」

計画書に「○○対策に取り組む」といった項目だけの記述がされている

問6-⑦「成果(アウトカム)指標」

「健やか親子21」の「保健水準の指標」や「住民自らの行動の指標」のように、母子保健活動の成果として期待される子どもや親の状態や行動に関する目標

問6-⑧「事業量の目標」

「健やか親子21」の「行政・関係機関等の取り組みの指標」のように、取り組みの有無や事業やサービスの回数、その利用者数など事業量に関する目標(健康診査の受診率も含む)

問1 「健やか親子21」の中間評価を行いましたか。あてはまる状況に1つだけ○をつけてください。

1. 「健やか親子21」単独の中間評価をおこなった
2. 次世代育成支援行動計画等、他の計画の一部として中間評価をおこなった
3. その他の形で中間評価をおこなった(具体的に)
4. 中間評価は行わなかった
5. 「健やか親子21」が策定されていなかった、もしくは他の計画にも盛り込まれていなかった

問2 「健やか親子21」の推進状況やその課題について、住民や関係者と協議を行っていますか。

1. 母子保健連絡協議会等で協議をしている
2. 健康づくり推進協議会等で他の世代の保健事業と一緒に協議をしている
3. その他()の協議会等で一緒に協議をしている
4. 協議の機会を特に持っていない

問3 「健やか親子21」の推進に関わっている方(担当者)が、下記の計画の策定に関わっていますか。関わり方について、あてはまる欄に○をつけてください(それぞれの計画策定につき1つずつ○をつけて下さい)。

	1.策定の主体となつて取り組んだ	2.主管部署と共同で策定した	3.主管部署から意見聴取をされた	4.策定にはほとんど関わっていない	5.計画が策定されていない
次世代育成支援行動計画	1	2	3	4	5
健康増進計画	1	2	3	4	5
食育推進計画	1	2	3	4	5

問4 「健やか親子21」や「子ども・子育て応援プラン」等に盛り込まれた個別の施策に関する平成21年度の取り組み状況についてお尋ねします。

(1) 貴自治体における取り組みの有無をお答えください。

(政令市・特別区用)		1. 取り組んでいる	2. 取り組んでいない
思春期の保健対策と健康教育	人工妊娠中絶、性感染症、薬物乱用問題に関する取り組みの推進	1	2
妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援	満足できる「いいお産」について医療機関等と連携した取り組みの推進	1	2
	満足できる「いいお産」について妊婦・パートナーが学習できる母親学級の見直し	1	2
	満足できる「いいお産」についての妊婦に対する相談の場の提供等の促進	1	2
	妊娠期から産後までの継続した支援体制の整備	1	2
	産科医師の確保・育成	1	2
母乳育児の推進	医療機関等関係機関・団体と連携した取組の推進	1	2
	授乳室の設置など授乳しやすい環境づくりの促進	1	2
小児保健医療水準を維持・向上	小児科医師の確保・育成	1	2
	小児の初期救急体制(在宅当番医、休日夜間急患センター)の整備	1	2*
	慢性疾患児等の在宅医療の支援体制の整備	1	2*
子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減	周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制の確立	1	2*
	育児不安・虐待親のグループの活動の支援	1	2
	生後4ヶ月に達するまでに新生児訪問や乳児健診のいずれにも接触のなかった全乳児の状況把握	1	2
	休日健診の推進等乳児健康診査受診率の向上	1	2
	育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の実施	1	2
食育の推進	子育て支援センターと連携した取り組み	1	2
	保育所・幼稚園と連携した取り組み	1	2
	学校と連携した取り組み	1	2
	農林漁業、食品産業関連機関と連携した取り組み	1	2
	住民組織・団体と連携した取り組み	1	2
	関係機関による食育推進連絡会(協議会)の設置	1	2
子どもの生活習慣の改善	幼児健康診査の機会を通じた取り組み	1	2
	学校における定期健康診断の機会を通じた取り組み	1	2

(注)

(注) *については体制の整備が整っている場合に1、整っていない場合に2とお答えください。

(2) 以下の項目について、該当する箇所数をお答えください。

精神保健福祉センターが把握している思春期関連の相談ができる医療機関の数	箇所
※精神保健福祉センターが把握していない場合は、保健所での把握数をお書きください。なお、その場合、医療機関を把握している保健所の数を備考にお書きください。また、精神保健福祉センター、保健所ともに把握していない場合は、その旨備考にお書きください。	(備考)

設置箇所数/小児病棟を持つ病院数

小児病棟を持つ病院における院内学級(養護学校の分室を含む)の設置数	/
小児病棟を持つ病院における遊戯室(プレイルーム)設置数	/

※NICU、新生児病棟は小児病棟に含まない。

子どもの心の専門的な診療ができる常勤医師がいる児童相談所数	箇所
子どもの心の専門的な診療ができる医師(兼任・嘱託・非常勤等)がいる児童相談所数	箇所
管内の全児童相談所数	箇所

※ 子どもの心の専門的な診療ができる医師とは、児童精神科医師を指します。

※ 指定都市、横須賀市、金沢市のみがお答え下さい。

問5 乳幼児健康診査の際に事故防止対策事業を実施していますか。該当する欄に○をつけてください(いくつ○をつけても結構です)。

取り組み	3~4ヶ月児健診時	1歳6か月児健診時
1. 会場にパネル等を展示したり、待ち時間にビデオを流している		
2. パンフレット等を配布している		
3. 事故防止のための安全チェックリストを使用している		
4. 教材等を用いて個別指導を行っている		
5. 内容を統一して集団指導をしている		
6. 特に内容を統一せず集団指導をしている		
7. その他()		
8. 特に取り組みはしていない		

問6 各種母子保健対策の取り組み状況についてお尋ねします。

	①平成18年 ^{*1} 以降、取り組みを充実させたか ^{*2}	②課題について地域の現状を把握しているか	③現在の取り組みにおいて、連携して取り組んでいる部署や組織・団体に○をつけて下さい(複数回答可)	④市町村の課題として、どのように認識しているか	⑤次世代育成支援行動計画 ^{*3} に盛り込まれているか	⑥健康増進計画など他の市区町村の計画に盛り込まれているか	⑦いずれかの計画で成果(アウトカム)指標を明確にしているか	⑧いずれかの計画で事業量の目標を明確にしているか
	1. 充実した 2. ある程度充実 3. 不変 4. 縮小した 5. 未実施	1. 定期的に把握 2. 不定期に把握 3. 未把握	1. 庁内他部局 2. 都道府県 3. 関係機関 4. 関係団体(医師会など) 5. 住民組織・団体(NPOを含む)	1. 極めて重要 2. 重要 3. それほど重要でない 4. 重要でない	1. 具体的に 2. 項目のみ 3. 盛り込まれていない	1. 具体的に 2. 項目のみ 3. 盛り込まれていない	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
十代の人工妊娠中絶防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
十代の性感染症予防対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
十代の喫煙防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
十代の飲酒防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
十代の薬物乱用防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
思春期の心の健康対策(自殺や思春期やせ症等の予防)	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
妊娠中の飲酒防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
妊娠中の喫煙防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
不妊専門相談センターの整備	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
周産期医療ネットワークの整備	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
「いいお産」の普及	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
母乳育児の推進	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
産後うつ対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
小児期からの生活習慣病対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
予防接種率の向上対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
「かかりつけ医」 ^{*4} の確保対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
小児救急医療対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
子どもの事故防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
慢性疾患児等の在宅医療の支援	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
児童虐待の発生予防対策(高リスクアプローチ)	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
親と子の心の健康づくり対策(集団アプローチ)	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
食育の推進	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
乳幼児期のむし歯対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2

*1 国の「健やか親子21」の第1回中間評価については、平成17年に調査実施、平成18年に見直しがおこなわれました。その年を指しています。

*2 他部局との連携をもとに充実した場合も含まれます。

*3 次世代育成支援行動計画については、後期計画をすでに策定している場合には、後期の状況について答えてください。それ以外は、前期計画についてお答えください。

*4 「かかりつけ医」とは小児科医に限らず、子どもがいつでも特定の医師や病院にかかることができることを指します。

問7 国の「健やか親子21」の第1回中間評価を受けて重点課題とされた下記の5項目について、平成18年以降に新たな対策事業を展開していますか。あてはまる項目に○をつけてください(いくつでも○をつけて構いません)。

1. 思春期の自殺防止
2. 思春期の性感染症罹患防止
3. 産婦人科医師、助産師等の産科医療を担う人材の確保
4. 小児の事故防止をはじめとする安全な子育て環境の確保
5. 子ども虐待防止対策の取組の強化
6. 食育の推進
7. いずれにもあてはまらない

問8 平成18年以降、「健やか親子21」を推進するための新たな連携の枠組みを構築しましたか。(例:思春期やせ対策のための学校・教育委員会との連携)

1. はい
2. いいえ

問9 「健やか親子21」を推進するために、各種情報を利活用する取り組みを実施していますか。ただし、情報の利活用とは、情報の収集・分析・還元および対策の立案等とします。

1. はい…問9(2)へ
2. いいえ…問10へ

問9(2) 下記の項目のうち、情報の利活用を積極的におこなっているものについて、○をつけてください(いくつでも○をつけて構いません)。

1. 妊娠中の喫煙
2. 予防接種の状況
3. 低出生体重児の状況
4. その他()

問10 「健やか親子21」に関連する貴自治体におけるユニークな(独自の)取組があれば教えてください。事業名と内容・特色を簡潔に記入してください。

事業名:

開始年度～終了年度:

特色:

「健やか親子21」の推進状況に関する実態調査票

市町村用

市町村名 () 自治体コード ()

課 記入者名

電話

FAX

調査票の記入に際しての留意事項

この調査は母子保健の国民運動計画である「健やか親子21」の第2回中間評価の資料となるものです。これまでの取り組みの状況と今後の取り組みの計画についてお答え下さい。

1. 回答については、該当する選択肢を選んでその番号に○をつけてください。
2. 設問や選択肢の中の表現については、以下のようにお考えください。

問6-①「充実した」

予算額だけの評価ではなく、事業の見直しや関係機関との連携強化などにより、事業の質を向上させた場合も含む

問6-①「縮小した」

予算額の大幅な削減、または、投入する労力の減少

問6-②「定期的」

毎年、もしくは2～5年など間隔を決めている

問6-③「関係機関」

庁外の公的機関や施設（教育委員会を含む）

問6-⑤, ⑥「具体的に」

計画書に当該対策について、具体的な取り組みが記載されている

問6-⑤, ⑥「項目のみ」

計画書に「〇〇対策に取り組む」といった項目だけの記述がされている

問6-⑦「成果（アウトカム）指標」

「健やか親子21」の「保健水準の指標」や「住民自らの行動の指標」のように、母子保健活動の成果として期待される子どもや親の状態や行動に関する目標

問6-⑧「事業量の目標」

「健やか親子21」の「行政・関係機関等の取組の指標」のように、取り組みの有無や事業やサービスの回数、その利用者数など事業量に関する目標（健康診査の受診率も含む）

問1 「健やか親子21」の中間評価を行いましたか。あてはまる状況に1つだけ○をつけてください。

1. 「健やか親子21」単独の中間評価をおこなった
2. 次世代育成支援行動計画等、他の計画の一部として中間評価をおこなった
3. その他の形で中間評価をおこなった(具体的に)
4. 中間評価は行わなかった
5. 「健やか親子21」が策定されていなかった、もしくは他の計画にも盛り込まれていなかった

問2 「健やか親子21」の推進状況やその課題について、住民や関係者と協議を行っていますか。

1. 母子保健連絡協議会等で協議をしている
2. 健康づくり推進協議会等で他の世代の保健事業と一緒に協議をしている
3. その他()の協議会等で一緒に協議をしている
4. 協議の機会を特に持っていない

問3 「健やか親子21」の推進に関わっている方(担当者)が、下記の計画の策定に関わっていますか。関わり方について、あてはまる欄に○をつけてください(それぞれの計画策定につき1つずつ○をつけて下さい)。

	1. 策定の主体 となって取り組 んだ	2. 主管部署と 共同で策定し た	3. 主管部署か ら意見聴取を された	4. 策定にはほ とんど関わっ ていない	5. 計画が策定 されていない
次世代育成支援行動計画	1	2	3	4	5
健康増進計画	1	2	3	4	5
食育推進計画	1	2	3	4	5

問4 「健やか親子21」や「子ども・子育て応援プラン」等に盛り込まれた個別の施策に関する平成21年度の取り組み状況についてお尋ねします。

(市町村用)		1. 取り組んでいる	2. 取り組んでいない
思春期の保健対策と健康教育の推進	人工妊娠中絶、性感染症、薬物乱用問題に関する取り組みの推進	1	2
妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援	満足できる「いいお産」について医療機関等と連携した取組の推進	1	2
	満足できる「いいお産」について妊婦・パートナーが学習できる母親学級の見直し	1	2
	満足できる「いいお産」についての妊婦に対する相談の場の提供等の促進	1	2
	妊娠期から産後までの継続した支援体制の整備	1	2
	産科医師の確保・育成	1	2
母乳育児の推進	助産師の確保・育成（産科臨床・助産所の助産師）	1	2
	医療機関等関係機関・団体と連携した取組の推進	1	2
小児保健医療水準を維持・向上	授乳室の設置など授乳しやすい環境づくりの促進	1	2
	小児の初期救急体制（在宅当番医、休日夜間急患センター）の整備	1	2*
子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減	慢性疾患児等の在宅医療の支援体制の整備	1	2*
	周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制の確立	1	2*
	生後4ヶ月に達するまでに新生児訪問や乳児健診のいずれにも接触のなかった全乳児の状況把握	1	2
	休日健診の推進等乳児健康診査受診率の向上	1	2
	育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の実施	1	2
食育の推進	育児不安・虐待親のグループの活動の支援	1	2
	子育て支援センターと連携した取り組み	1	2
	保育所・幼稚園と連携した取り組み	1	2
	学校と連携した取り組み	1	2
	農林漁業、食品産業関連機関と連携した取り組み	1	2
	住民組織・団体と連携した取り組み	1	2
子どもの生活習慣の改善	関係機関による食育推進連絡会（協議会）の設置	1	2
	幼児健康診査の機会を通じた取り組み	1	2
	学校における定期健康診断の機会を通じた取り組み	1	2

(注)

(注) *については体制の整備が整っている場合に1、整っていない場合に2とお答えください。

問5 乳幼児健康診査の際に事故防止対策事業を実施していますか。該当する欄に○をつけてください(いくつ○をつけても結構です)。

取り組み	3～4ヶ月児健診時	1歳6か月児健診時
1. 会場にパネル等を展示したり、待ち時間にビデオを流している		
2. パンフレット等を配布している		
3. 事故防止のための安全チェックリストを使用している		
4. 教材等を用いて個別指導を行っている		
5. 内容を統一して集団指導をしている		
6. 特に内容を統一せず集団指導をしている		
7. その他()		
8. 特に取り組みはしていない		

問6 各種母子保健対策の取り組み状況についてお尋ねします。

	①平成18年*1以降、取組を充実させたか*2	②課題について地域の現状を把握しているか	③現在の取り組みにおいて、連携して取り組んでいる部署や組織・団体に○をつけて下さい(複数回答可)	④市町村の課題として、どのように認識しているか	⑤次世代育成支援行動計画*3に盛り込まれているか	⑥健康増進計画など他の市町村の計画に盛り込まれているか	⑦いずれかの計画で成果(アウトカム)指標を明確にしているか	⑧いずれかの計画で事業量の目標を明確にしているか
	1. 充実した 2. ある程度充実 3. 不変 4. 縮小した 5. 未実施	1. 定期的 に把握 2. 不定期 に把握 3. 未把握	1. 庁内他部局 2. 都道府県 3. 関係機関 4. 関係団体 (医師会など) 5. 住民組織・団体 (NPOを含む)	1. 極めて重要 2. 重要 3. それほど重要 でない 4. 重要でない	1. 具体的に 2. 項目のみ 3. 盛り込ま れていない	1. 具体的に 2. 項目のみ 3. 盛り込ま れていない	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
十代の人工妊娠中絶防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
十代の性感染症予防対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
十代の喫煙防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
十代の飲酒防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
十代の薬物乱用防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
思春期の心の健康対策 (自殺や思春期やせ症等の予防)	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
妊娠中の飲酒防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
妊娠中の喫煙防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
「いいお産」の普及	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
母乳育児の推進	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
産後うつ対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
小児期からの生活習慣病対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
予防接種率の向上対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
「かかりつけ医」*4の確保対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
小児救急医療対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
子どもの事故防止対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
慢性疾患児等の在宅医療の支援	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
児童虐待の発生予防対策 (高リスクアプローチ)	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
親と子の心の健康づくり対策 (集団アプローチ)	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
食育の推進	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2
乳幼児期のむし歯対策	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3	1 2	1 2

*1 国の「健やか親子21」の第1回中間評価については、平成17年に調査実施、平成18年に見直しがおこなわれました。その年を指しています。

*2 他部局との連携をもとに充実した場合も含まれます。

*3 次世代育成支援行動計画については、後期計画をすでに策定している場合には、後期の状況について教えてください。それ以外は、前期計画についてお答えください。

*4 「かかりつけ医」とは小児科医に限らず、子どもがいつでも特定の医師や病院にかかることができることを指します。

問7 国の「健やか親子21」の第1回中間評価を受けて重点課題とされた下記の5項目について、平成18年以降新たな対策事業を展開していますか。あてはまる項目に○をつけてください(いくつでも○をつけて構いません)。

1. 思春期の自殺防止
2. 思春期の性感染症罹患防止
3. 産婦人科医師、助産師等の産科医療を担う人材の確保
4. 小児の事故防止をはじめとする安全な子育て環境の確保
5. 子ども虐待防止対策の取組の強化
6. 食育の推進
7. いずれにもあてはまらない

問8 平成18年以降、「健やか親子21」を推進するための新たな連携の枠組みを構築しましたか。(例:思春期やせ対策のための学校・教育委員会との連携)

1. はい
2. いいえ

問9 「健やか親子21」を推進するために、各種情報を利活用する取り組みを実施していますか。ただし、情報の利活用とは、情報の収集・分析・還元および対策の立案等とします。

1. はい…問9(2)へ
2. いいえ…問10へ

問9(2) 下記の項目のうち、情報の利活用を積極的におこなっているものについて、○をつけてください(いくつでも○をつけて構いません)。

1. 妊娠中の喫煙
2. 予防接種の状況
3. 低出生体重児の状況
4. その他()

問10 「健やか親子21」に関連する貴自治体におけるユニークな(独自の)取り組みがあれば教えてください。事業名と内容・特色を簡潔に記入してください。

事業名:

開始年度～終了年度:

特色:

EPDS による産後うつ頻度の把握に関するアンケート

平成 21 年度 厚生労働科学研究費補助金 子ども家庭総合研究事業
「健やか親子21を推進するための母子保健情報の利活用に関する研究」
主任研究者 山縣然太郎(山梨大学大学院 医学工学総合研究部 社会医学講座)

* 貴自治体の平成 20 年度における状況についてお伺いいたします。黒ボールペン等で記入してください。

貴自治体の都道府県名と、保健所名又は市区町村名等を教えてください。
(県型保健所の場合: 都道府県・保健所名)
(市区町村の場合: 都道府県・市区町村名)
※市町村の一部の機関として回答いただく場合は、市町村名の後に機関名も記入してください。
本調査にご回答いただいた担当者様のお名前をよろしければお教えください。()

25

問1. 産後うつのハイリスクと予想される個人だけを対象にせず、問2にある事業のいずれかにおいて、平成 20 年度の1年間を通じて、基本的には全数を対象に(以下、“全数を対象に”), EPDS を用いて産後うつのスクリーニング(産後 120 日以内)を実施しましたか。

- 1. 全数を対象に実施している →問2へ続く
- 2. 全数を対象には実施していない →問4の 4-5 へ

問2. 全数を対象に EPDS を用いているのは、どの時点(事業)の時ですか。あてはまる時点(事業)全てに○をつけてください。また、あてはまる箇所の()に数値等をご記入ください。

- 1. 新生児訪問時.....およそ産後()週までに EPDS 実施
- 2. 未熟児訪問時.....およそ産後()週までに EPDS 実施
- 3. こんにちは赤ちゃん事業時.....およそ産後()週までに EPDS 実施
- 4. 乳児訪問時.....およそ産後()週までに EPDS 実施
- 5. 3・4ヶ月健診時
- 6. 産前訪問時.....およそ妊娠()週～()週あたりに EPDS 実施
- 7. その他の時点.....()にて EPDS 実施

問3. 問2で○をつけていただいた時点(EPDS 実施時点・事業)のうちで、平成 20 年度において、EPDS 実施対象者数が最も多い時点は下記のうちどれですか。一つだけ○をつけてください。

- 1. 新生児訪問時
- 2. 未熟児訪問時
- 3. こんにちは赤ちゃん事業時
- 4. 乳児訪問時
- 5. 3・4ヶ月健診時
- 6. 産前訪問時
- 7. その他の時点

問4. 問3で一つだけ選んだ時点の、平成 20 年度の EPDS の結果等についてお伺いいたします。ただし、4-1(出生数)については、県型保健所の方は回答不要、市町村の一部の機関の方は貴機関管内について回答してください。

- 4-1. 平成 20 年度の貴市町村の出生数は何例ですか.....()例
- 4-2. 問3に回答した時点の事業対象者数(EPDS 未実施例含む)は何例ですか()例
- 4-3. 問3に回答した時点において、EPDS は何例の母親に適用されましたか...()例
- 4-4. そのうち EPDS 得点が 9 点以上の方は何例おられましたか.....()例
- 4-5. EPDS を実施したのは主にどなたですか(例. 保健師, 助産師, 等)。

()
4-6. EPDS において得点が高かった母親へのフォローはどのようにしていますか。資料等がございましたら、本票に続けて FAX して下さい。

[]

4-7. 妊娠中からの、産後うつ予防を目的とした取り組みがあればお書きください。取り組みの資料等がございましたら、本票に続けて FAX してください。

[]

調査へのご協力ありがとうございました。

お手数ですが、以下のファックスに本票の返信お願いいたします。

FAX 0947-46-3722

☆本調査問合せ先:福岡県立大学 看護学部 ヘルスプロモーション看護学系 教授 松浦 賢長

Tel. 0947-42-1905 e-mail matsuura@fukuoka-pu.ac.jp

「健やか親子21」の推進状況

1. 健やか親子21推進協議会の取組状況について

(参考資料『「健やか親子21」関連資料(母子保健レポート2008)』参照)

(1) 健やか親子21推進協議会参加団体数(団体名は団体一覧を参照)

13年度	17年度	21年度
70	75	85

(2) 課題毎活動実績数(取組団体数)

推進協議会参加団体は年度末に活動実績報告と翌年度の行動計画を提出。それらはホームページにて公開するとともに総会資料(母子保健レポート)としてまとめている。表は活動実績として報告された数を示す(重複あり)。

	19年度
課題1(思春期)	25
課題2(妊娠・出産)	22
課題3(小児医療)	33
課題4(子どもの心)	45

(3) 総会開催状況

運動方針等重要事項の決定や団体間の連携強化のため総会を年1回開催。

第1回設立総会	平成13年4月20日	東京會館シルバースタールーム
第2回	平成14年12月25日	厚生労働省講堂
第3回	平成15年12月4日	厚生労働省講堂
第4回	平成16年12月2日	厚生労働省第18~20会議室
第5回	平成18年3月16日	厚生労働省講堂
第6回	平成19年3月22日	厚生労働省第15会議室
第7回	平成20年2月4日	厚生労働省講堂
第8回	平成21年2月4日	厚生労働省講堂

(4) 幹事会の取組

課題ごとに幹事会を置き、取組の効果的な推進を図っている。幹事会は年に1～5回程度開催されている。

幹事団体		◎代表幹事
課題1 (思春期)	日本児童青年精神医学会 日本家族計画協会 日本学校保健会 全国養護教諭連絡協議会 日本泌尿器科学会 日本助産学会	◎
課題2 (妊娠・出産)	日本母乳の会 日本産婦人科医会 日本産科婦人科学会 日本助産師会	◎
課題3 (小児医療)	全国保健所長会 日本小児科医会 母子衛生研究会 難病のこども支援全国ネットワーク 日本看護協会 日本小児科学会 日本小児総合医療施設協議会 日本小児看護学会	◎年度毎に交代
課題4 (子どもの心)	日本小児保健協会 児童虐待防止協会 全国児童相談所長会 全国保健師長会 全国保健センター連合会	◎

健やか親子21推進協議会参加団体一覧

(平成21年3月1日現在)

NO	団体名
001	(NPO) SIDS家族の会
002	(社福) 恩賜財団母子愛育会
003	(財) 家庭保健生活指導センター
004	(社団) 国民健康保険中央会
005	日本子ども健康科学会 (子どもの心・体と環境を考える会)
006	(NPO) 児童虐待防止協会
007	(財) 性の健康医学財団
008	全国児童相談所長会
009	全国児童心理司会
010	全国市町村保健活動協議会
011	(社福) 全国社会福祉協議会
012	全国情緒障害児短期治療施設協議会
013	全国助産師教育協議会
014	(社団) 全国ベビーシッター協会
015	全国保健所長会
016	(社団) 全国保健センター連合会
017	全国保健師長会
018	全国養護教諭連絡協議会
019	(NPO) 難病のこども支援全国ネットワーク
020	(社団) 日本医師会
021	(社団) 日本栄養士会
022	(社団) 日本家族計画協会
023	(財) 日本学校保健会
024	(社団) 日本看護協会
025	日本公衆衛生学会
026	(社団) 日本産科婦人科学会
027	(社団) 日本歯科医師会
028	日本思春期学会
029	日本児童青年精神医学会
030	(社団) 日本小児科医会
031	(社団) 日本小児科学会
032	日本小児看護学会
033	日本小児救急医学会
034	(社団) 日本小児保健協会
035	日本助産学会
036	(社団) 日本助産師会
037	日本性感染症学会
038	日本赤十字社
039	日本タッチケア研究会
040	日本保育園保健協議会
041	(社福) 日本保育協会
042	(財) 日本母子衛生助成会
043	日本母性衛生学会

NO	団体名
044	(社団) 日本産婦人科医会
045	日本母乳の会
046	(社団) 日本薬剤師会
047	(社団) 日本理学療法士協会
048	(財) 母子衛生研究会
049	(社団) 母子保健推進会議
050	(社団) 母子用品指導協会
051	有限責任中間法人日本小児歯科学会
052	日本小児総合医療施設協議会
053	有限責任中間法人 日本周産期・新生児医学会
054	日本学校保健学会
055	日本小児神経学会
056	(財) 日本食生活協会
057	全国病児保育協議会
058	性と健康を考える女性専門家の会
059	日本外来小児科学会
060	日本糖尿病・妊娠学会
061	日本母乳哺育学会一般社団法人
062	(社団) 日本女医会
063	日本産業衛生学会
064	(NPO) 日本小児循環器学会
065	(社団) 日本泌尿器科学会
066	日本臨床心理士会
067	全国母子保健推進員連絡協議会
068	(財) 児童健全育成推進財団
069	(財) 日本性教育協会
070	すくすく子育て研究会
071	(財) こども未来財団
072	健康日本21推進フォーラム
073	(財) 母子健康協会
074	日本生殖看護学会
075	FOUR WINDS 乳幼児精神保健学会
076	(財) 健康・体力づくり事業財団
077	U-COM (JFPA若者委員会)
078	日本SIDS学会
079	日本未熟児新生児学会
080	財団法人 児童育成協会
081	全国乳児福祉協議会
082	全国児童養護施設協議会
083	全国母子生活支援施設協議会
084	全国保育協議会
085	全国保育士会